

2022

Surface Pro 7+

セットアップマニュアル

このPC は大学生協オリジナルモデルです。
本セットアップマニュアルは大学生協が発行しております。



本マニュアルはWindows 10 21H2 のバージョン
にて検証および作成されております。



お使いのOS バージョンによっては一部表示が
異なる場合がございます。

ID・Password 記入欄



大切だから忘れず、記入



ローカルアカウント パスワード	
PIN	
Office アカウント ID	
Office アカウント パスワード	
Microsoft アカウント ID	
Microsoft アカウント パスワード	
ウイルスバスター 登録メール	

INDEX

パソコンを正しく快適に使うために気をつけよう！	・・・04
セットアップに必要なもの	・・・05
本体使用準備・各部名称	・・・06
セットアップの注意点	・・・07
タッチパッド操作	・・・08
文字入力	・・・09
初期設定	・・・10
ネットワークへの接続方法	・・・18
Windows 10 の主な操作方法について	・・・19
ログインパスワードの変更(設定)方法	・・・23
Windows Update	・・・24
Windows Update 更新中の注意	・・・25
Windows Update 一時停止	・・・26
ネットワーク接続	・・・27
Microsoft Edge について	・・・28
Microsoft Edge の設定	・・・29
Office のライセンス認証	・・・31
Office 更新プログラム適用について	・・・32
USB メモリの接続	・・・33
【活用編】バックアップの必要性	・・・34
用語集(50 音順)	・・・35
Surface を活用するために	・・・38
Surface ペンのペアリング	・・・39
ヒントアプリ	・・・40
Microsoft Store	・・・41
Windows Hello の設定	・・・42
OneDrive の設定	・・・44
電源OFF	・・・46



振動衝撃に注意

パソコンは衝撃や振動に弱いものです。
持ち運び時にはケースに入れるようにしましょう。
ケースに入れていても自転車のカゴに入れるのは禁物です。
振動でハードディスクやボディが壊れる恐れがあります。
また、満員電車の圧力で破損した例もあります。
机からの落下も破損の原因になりますので注意しましょう。



置き忘れ、盗難に注意

学内や電車の網棚、飲食店などへのパソコンの置き忘れが
毎年発生しています。ちょっとトイレに行った際に・・・というケースもあります。
パソコンは高価な商品ですが、それ以上に個人情報などの大切なデータがたくさん
詰まっています。
コンパクトで持ち去られやすいので、盗難などにも注意しましょう。



飲み物に注意

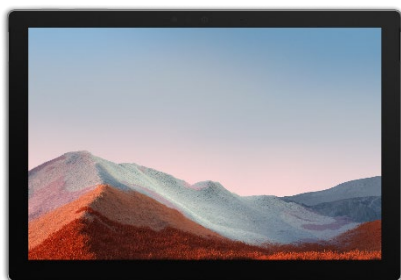
パソコンは電子機器なので、水にとっても弱いものです。
部屋の中やカフェなどでうっかり飲み物をこぼしてしまうケースが意外に多いです。
パソコンの操作中は出来るだけ近くに飲み物を置かないようにしましょう。
また、ちょっとした水滴から守るためにも、キーボードカバーを使うという方法も
あります。



液晶画面の取り扱いに注意

液晶画面はガラスです。衝撃や強い圧力で破損します。
例えば、PC本体をぶつける、画面を指で力強く押す、キーボードの上にUSBメモリ
やペンなどを置いた状態でフタを閉じる、PCの液晶ディスプレイ側を持って本体を
持ち上げるなどの取り扱いを行うと液晶画面パネルが破損します。
掃除の際にも柔らかい布やクリーナーでやさしく拭き取るようにしましょう。

※破損、水濡れ等はメーカー保証期間内でも有償修理になります。



Surface Pro 本体

Windows 10 をペンやタッチで操作できる 2in1PCです。キックスタンドで自立し、角度調節も自在です。



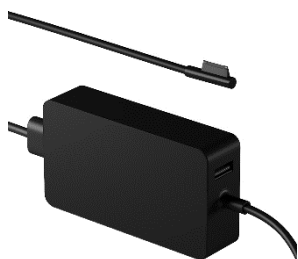
タイプカバー

マグネット部分をカチッと音がするまで差し込み、タイプ カバーを接続すると、ノートPCとして使用できます。また、持ち運ぶ際はスクリーンを保護する役割があります。



Surface ペン

Surface ペンでは、紙に書くのと同じように手書き入力ができます。
ペンを使用しない時は、本体の左側面にマグネットに取り付けておけます。



AC アダプタ

Surface の充電器です。
長時間の作業の際に利用します。

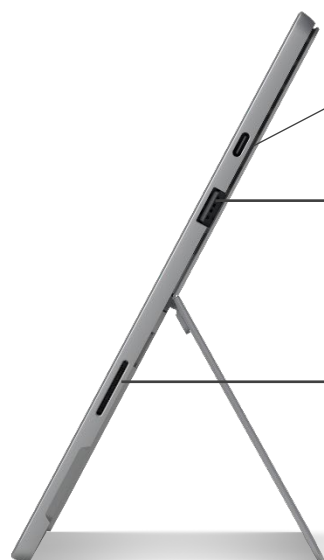


タイプカバーの接続

タイプカバーの接続端子はマグネットになっており、本体に近づけると、正しい位置にカチッと音がして接続されます。また、取り外すときは、そのまま引き抜いてとりはずします。

キーボードの角度調節

タイプカバーは、本体の接続部付近を折り返すことで、キーボードに角度をつけることができます。



USB-C ポート

USB-C を使用した外部機器への接続に利用します。

USB-A ポート

USB-A を使用した外部機器への接続に利用します。

充電端子(Surface Connect)

ACアダプターを接続します。



電源・音量ボタン

電源ON・スリープといった操作ができます。また、＋ボタンでは、音量調節も可能です。

カメラ

本体正面に5Mカメラ・顔認証カメラ、本体裏には8Mカメラが搭載されています。

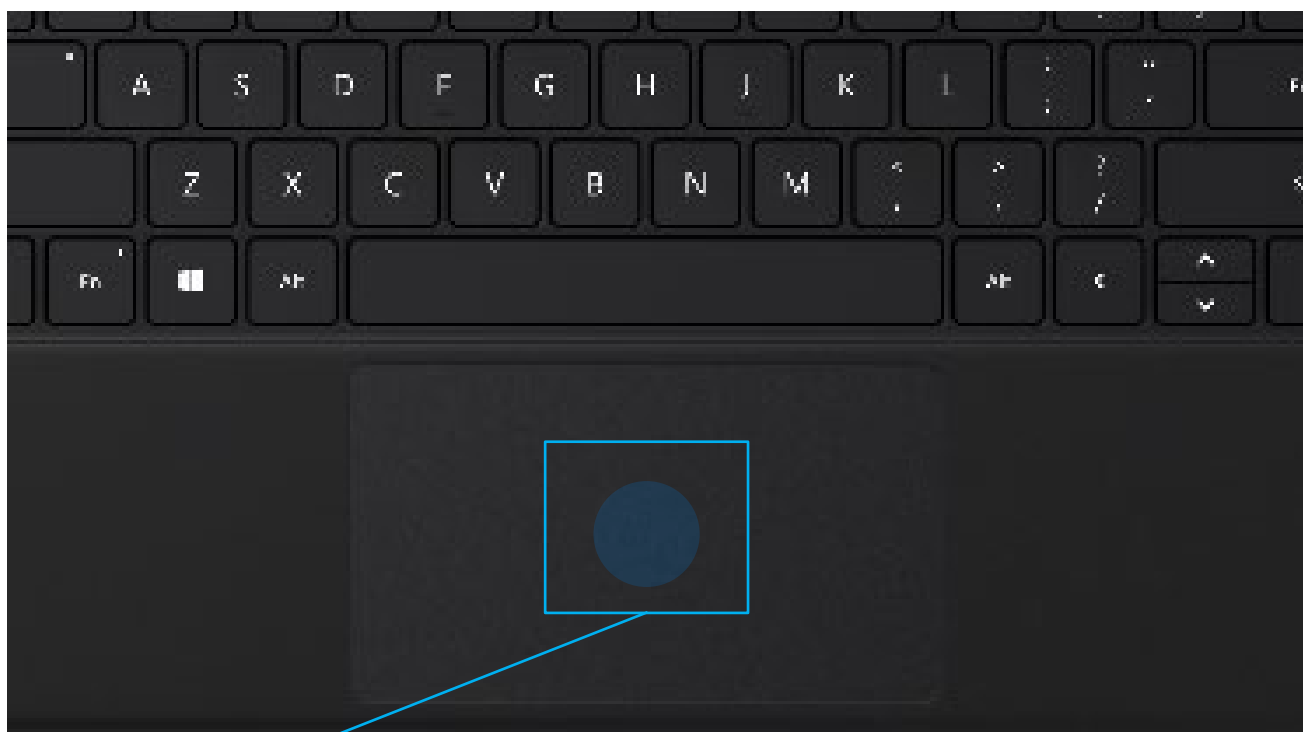
キックスタンド

最大165度まで角度調節できます。

microSD スロット

microSD カード(別売)を差し込み、USBメモリのように使えます。

タッチパッド



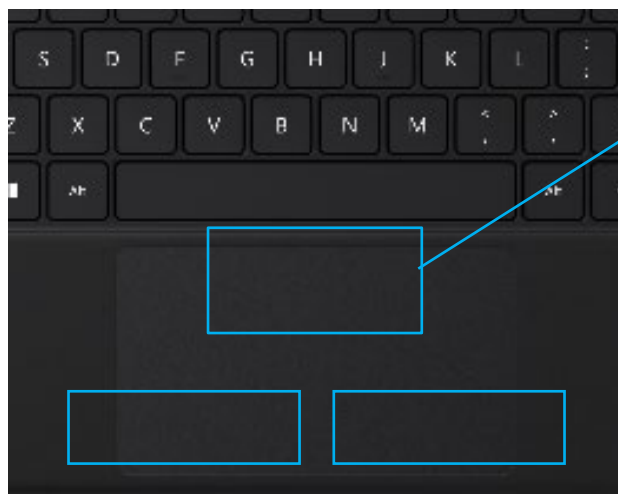
- ・パソコンを起動し、一定時間操作を行っていないと「省エネ」の為、液晶画面を自動的にOFFにする（スクリーンセ이버などの）動作を行います
- ・セットアップ中に画面が暗くなったときはタッチパッドに触れると画面が戻ります

タッチパッドに触れても復帰しない場合

タッチパッドに触れても画面が戻らずに本体の電源ランプが点滅している場合はスリープモードという状態になっています。
その場合は、電源ボタンを操作すると画面が元に戻ります。
覚えておいてください。

※異常状態が長く続くとき(10分以上)は電話サポートにお問い合わせください。

ノートパソコンのタッチパッドを簡単に説明します。
タッチパッドが初めての方は一読しておいてください



左クリックエリア

右クリックエリア

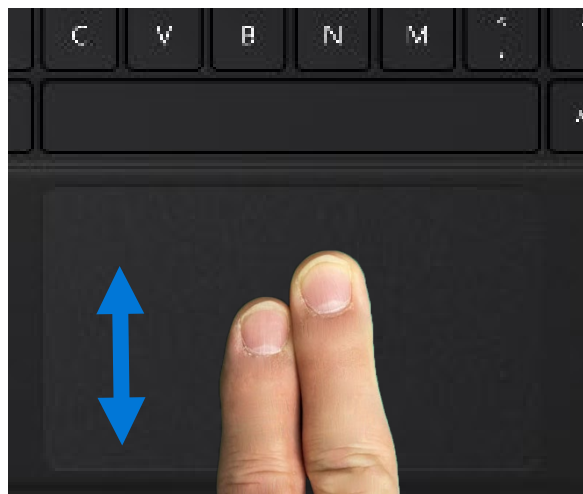
タッチエリア

タッチエリアに指1本を当てて動かすと画面上のマウスカーソルを動かすことができます。



マウスカーソル

基本操作としてはマウスカーソルを動かして画面上のアイコンや文字、リンクに合わせ、**左クリックボタン**で**クリック**や**ダブルクリック**をします。



最近の機種は（本機も）左図のように指2本で上下に動かすと画面**スクロール**ができます。

クリックの種類

・クリック

⇒ **左クリックボタン**を1回押すこと

・右クリック

⇒ **右クリックボタン**を1回押すこと

・ダブルクリック

⇒ **左クリックボタン**を2回続けて押すこと

・ドラッグ

⇒ **左クリックボタン**を押しながらマウスカーソルを動かすこと

※タッチエリアのタップ(指先で叩く)は**クリック**と同じ効果があります。
タッチエリアを2回タップすることで**ダブルクリック**と同じ効果があります

①半角/全角の切り替え方法

キーボード左上の【半/全】キーを押して切り替えることができます。

画面右下に表示されている言語バーを見ると、現在の入力の状態を確認できます。

「A」の場合は半角

「あ」の場合は全角になります。

②大文字と小文字の入力方法

キーボードの【Shift】キーを押したまま、文字のキーを押すと大文字で入力ができます。

また【Shift】キーを押したまま【CapsLock】を押すと常に大文字で入力ができる設定に切り替えることができます。

この機能をCapsLockと言います。

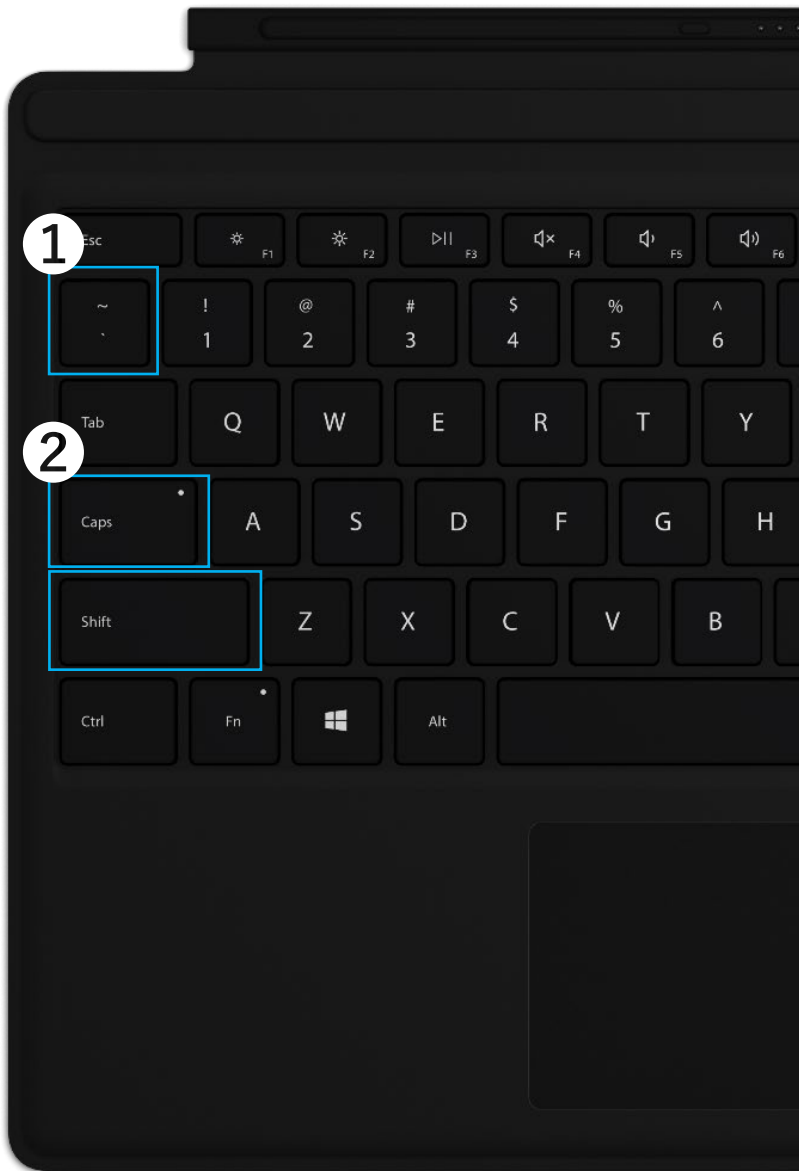
※もとに戻す場合はもう一度、【Shift】キーを押したまま【CapsLock】を押すと常に小文字が入力される設定に戻ります。

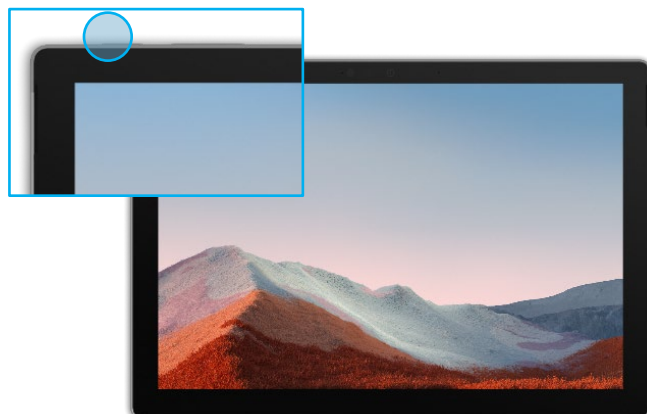
CapsLock機能が有効か無効については、

【CapsLock】キー

右上のランプが緑点灯している場合が有効で、この状態では常に大文字で入力されます。

※キーボードは英語版





自身で初期設定を行う際は、デスクトップ画面が表示されるまでの工程を必ず完了させてください

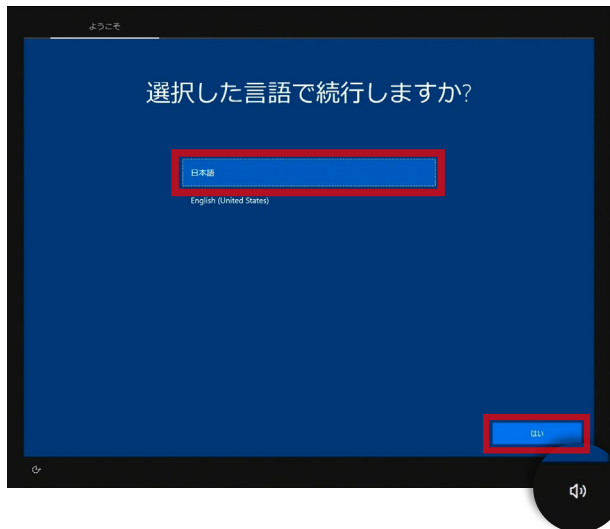
講習会中はSurface ペンのキャップを外しておいてください

タイプカバーの接続端子を、Surface 底面部のマグネット端子に接続します

本体・ACアダプター・コンセントにケーブルを接続します

Surface左上部の電源ボタンを押します

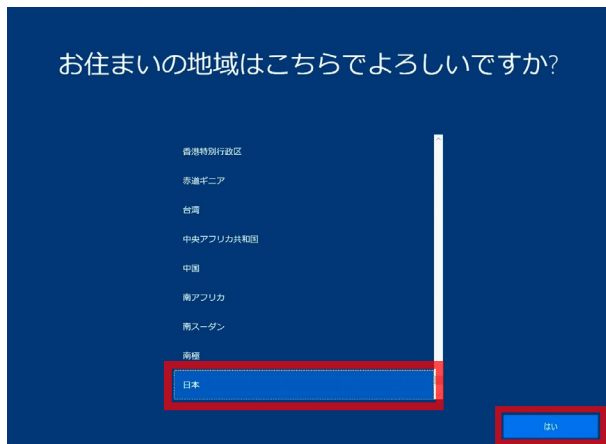
Microsoft ロゴが表示され、しばらく待つと初期セットアップにうつります

**【選択した言語で続行しますか？】**

と表示されたら、「日本語」を選択し、右下の[はい]をクリックします

※セットアップ中はCortanaが説明を読み上げます

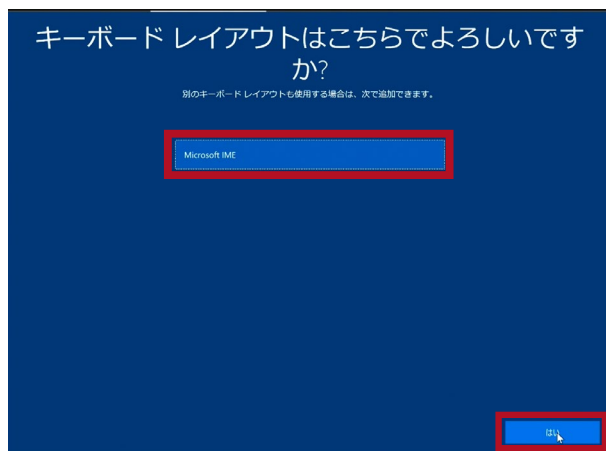
音声をOFFにする場合は、右下のスピーカーアイコンを押し、禁止マークを表示させるか、ボリュームを0まで下げます。

**【お住まいの地域はこちらでよろしいですか？】**

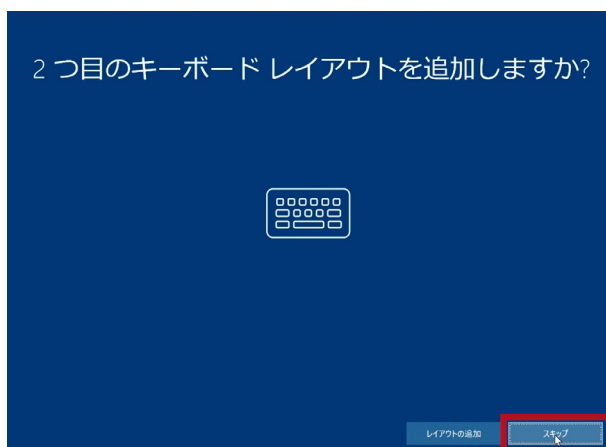
と表示されたら、

「日本」を選択し、

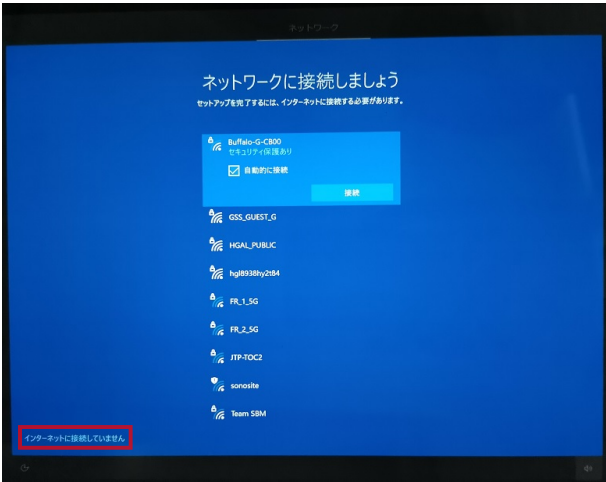
右下の[はい]をクリックします

**【キーボードレイアウトはこちらでよろしいですか？】**

と表示されたら、「Microsoft IME」が選択されていることを確認し、右下の[はい]をクリックします

**【2つ目のキーボードレイアウトを追加しますか？】**

と表示されたら、右下の[スキップ]をクリックします

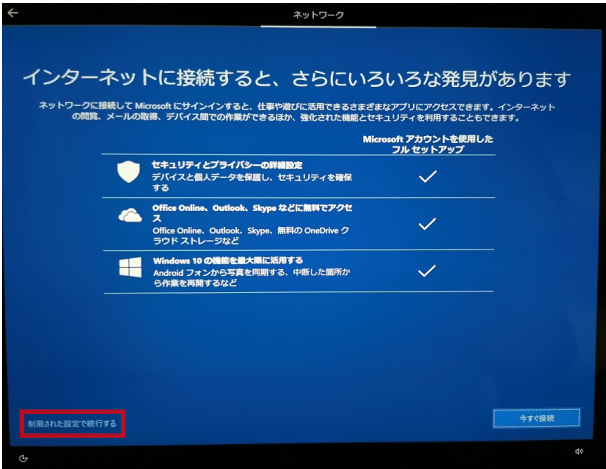


【ネットワークに接続しましょう】

と表示されたら、左下にある

「インターネットに接続していません」

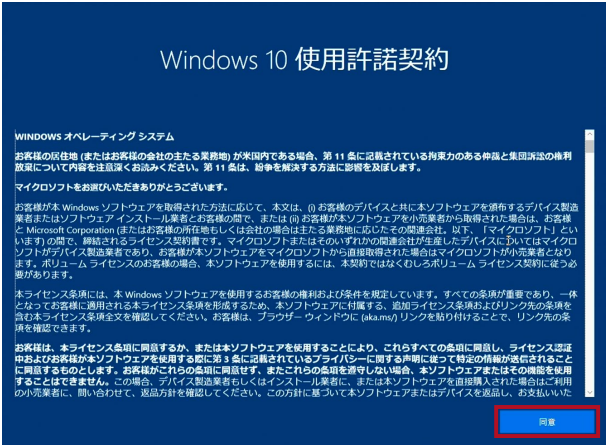
をクリック



【インターネットに接続すると、さらにいろいろな発見があります】

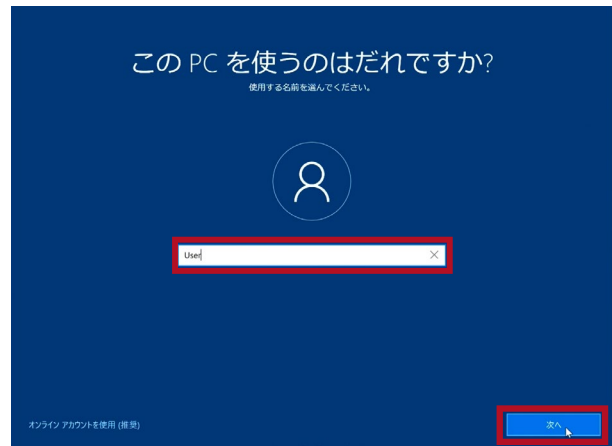
と表示されたら、左下にある

「制限された設定で続行する」をクリック



【Windows10 使用許諾契約】

と表示されたら、右下の[同意]をクリックします

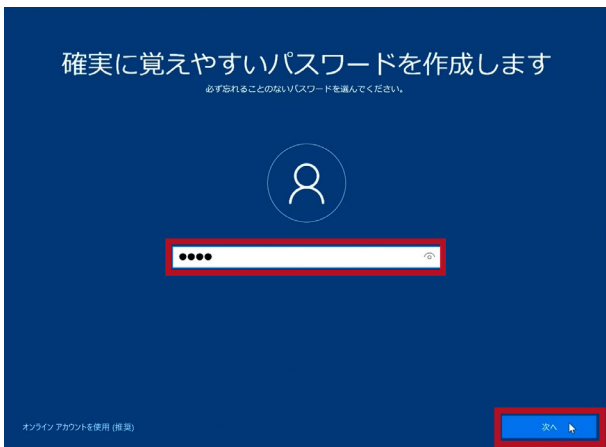


【このPCを使うのはだれですか？】

と表示されたら、PC利用時の名前(アカウント名)を入力します

日本語だと文字化けする可能性がある為、半角英数、アルファベットでの入力を推奨します

入力したら[次へ]をクリックします



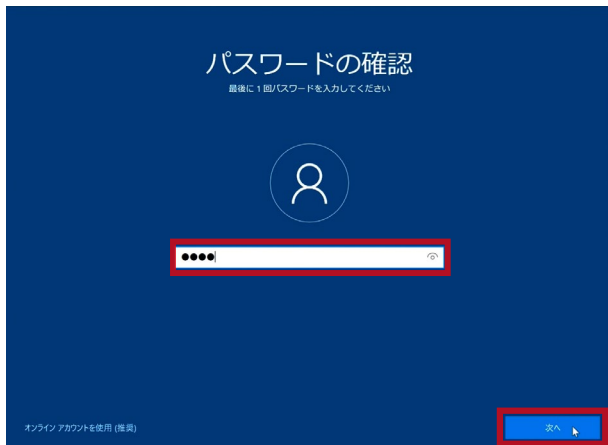
【確実に覚えやすいパスワードを作成します】

と表示されたら、パスワードを設定します

※忘れることのないよう、必ずどこかに控えておいてください

また、パスワードなしでも設定は可能です

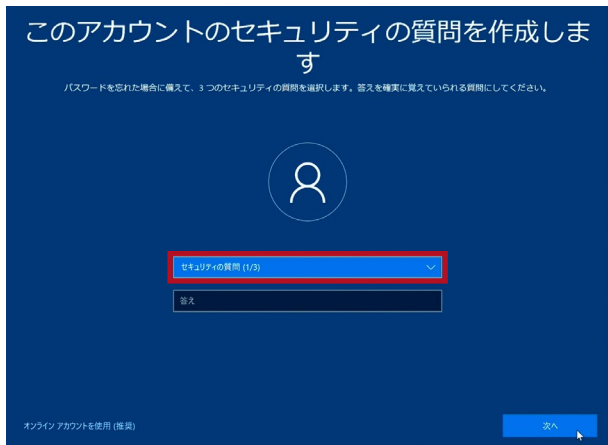
入力したら[次へ]をクリックします



【パスワードの確認】

と表示されたら、一つ前の画面で入力したパスワードをもう一度入力します

入力したら[次へ]をクリックします

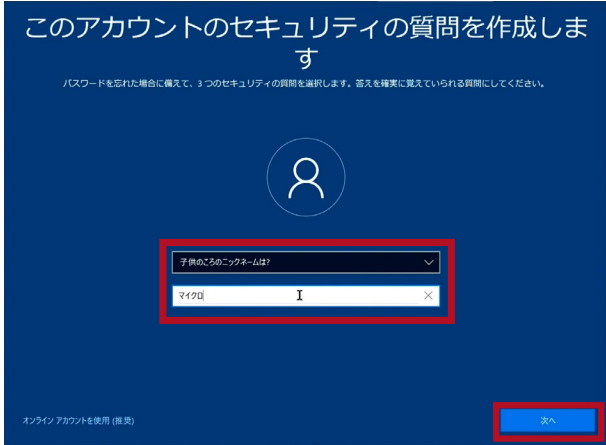
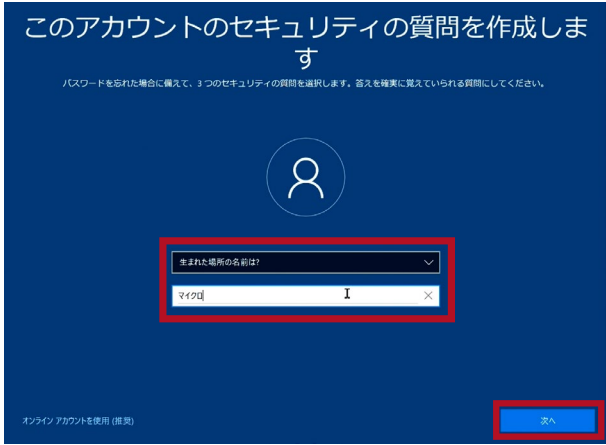
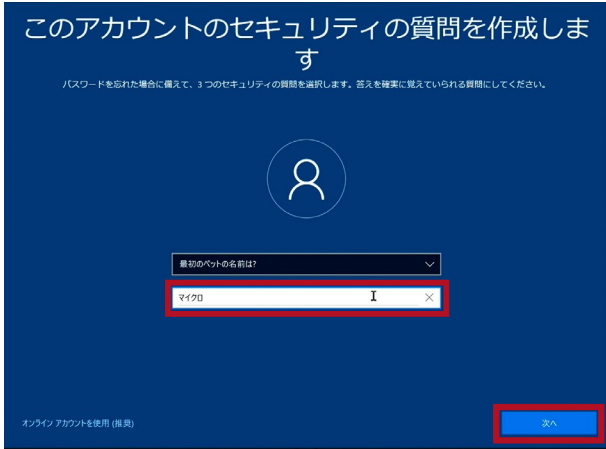
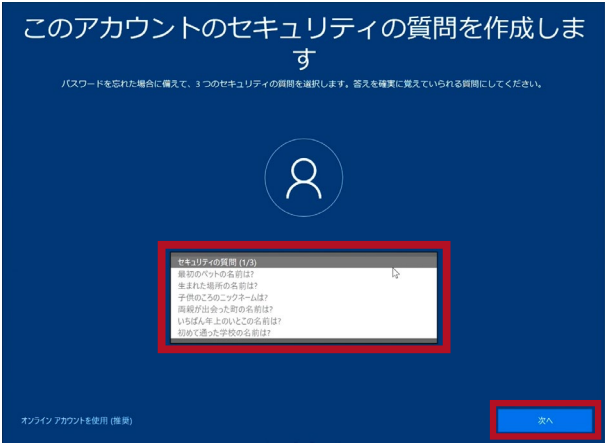


【このアカウントのセキュリティの質問を作成します】

と表示されたら、パスワードを忘れた際の質問と答えを設定します

※忘れることのないよう、必ずどこかに控えておいてください

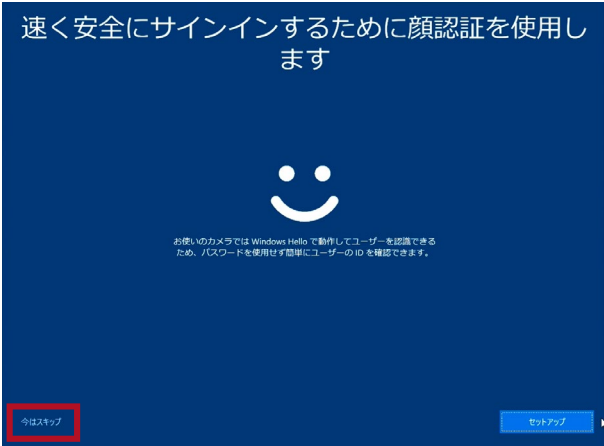
また、パスワードを設定しなかった場合は表示されません



【このアカウントのセキュリティの質問を作成します】

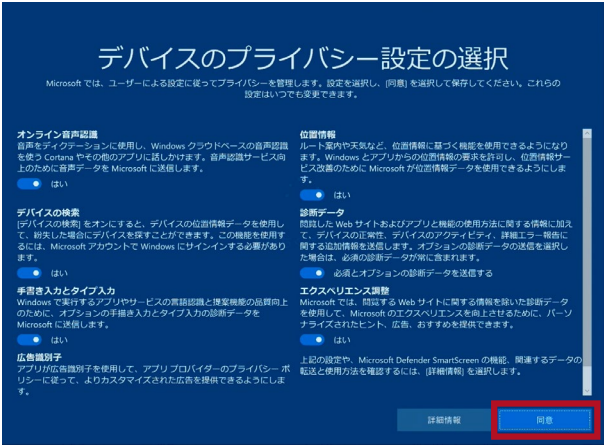
質問の選択肢は全部で6つあります
以下の中から3つの質問を選択し、答えを設定してください

- 最初のペットの名前は？
- 生まれた場所の名前は？
- 子供のころのニックネームは？
- 両親が出会った町の名前は？
- いちばん年上のいとこの名前は？
- 初めて通った学校の名前は？



【速く安全にサインインするために顔認証を使用します】

と表示されたら、左下の[今はスキップ]をクリックします



【デバイスのプライバシー設定の選択】

と表示されたら、右下の[同意]をクリックします



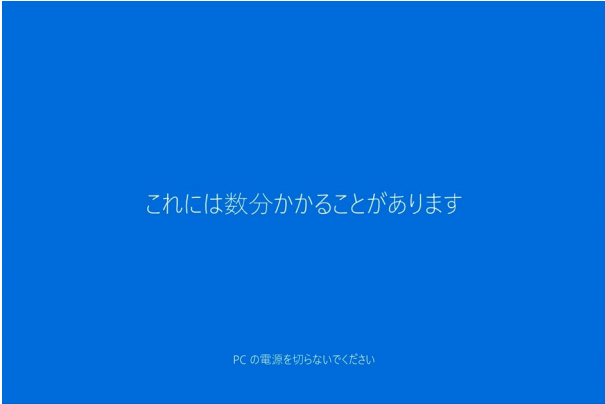
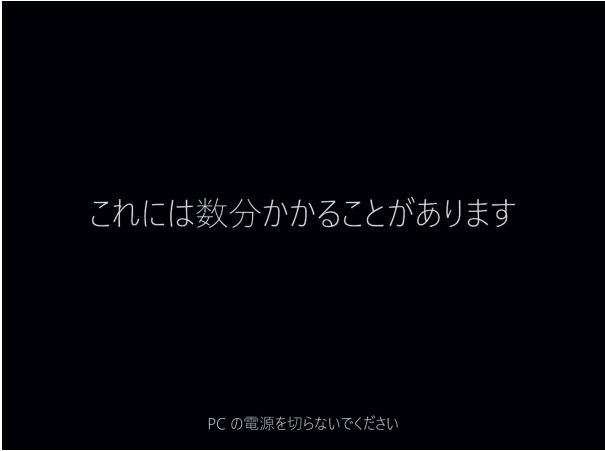
【Cortana による作業の支援を許可する】

と表示されたら、右下の[同意]をクリックします



【こんにちは】

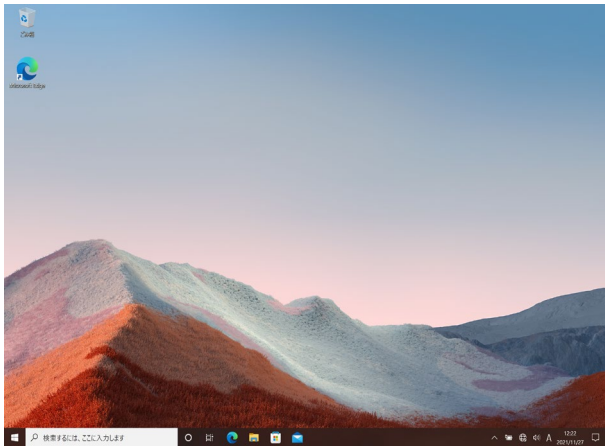
と表示されたら、初期セットアップの処理が始まります



初期セットアップの処理が開始されるので、
デスクトップ画面が表示されるまでお待ちく
ださい



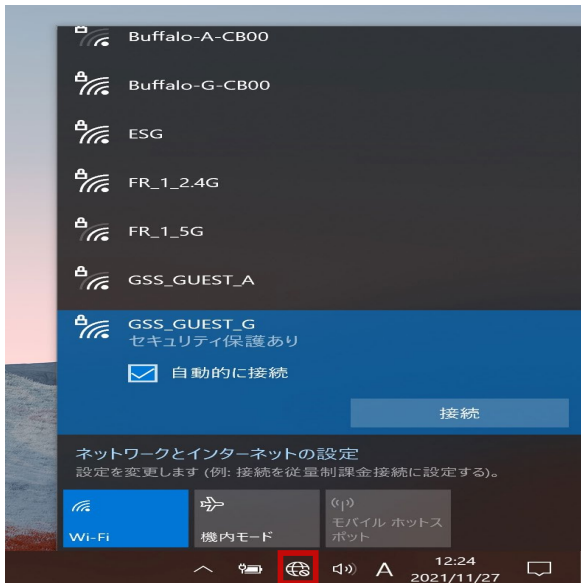
初期セットアップの処理を行っているので、デスクトップ画面が表示されるまでお待ちください



しばらくすると

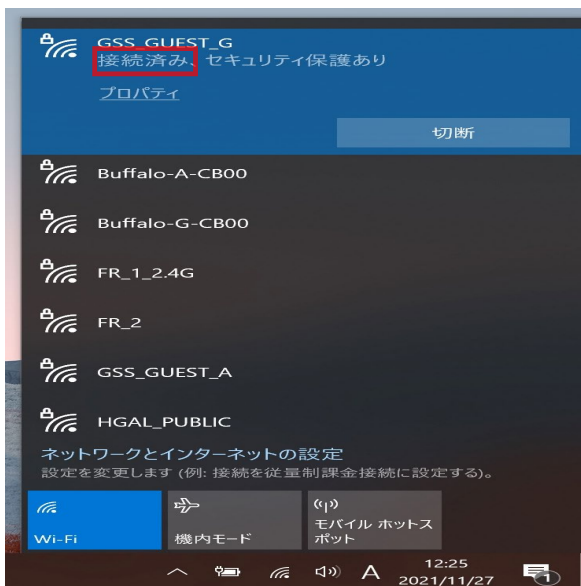
デスクトップ画面が表示されます

これでSurface の初期設定は完了です



デスクトップの右下の地球儀のアイコンを押し、Wifiネットワークの接続先一覧を表示させます

ネットワークを選択しパスワードの入力をしてください

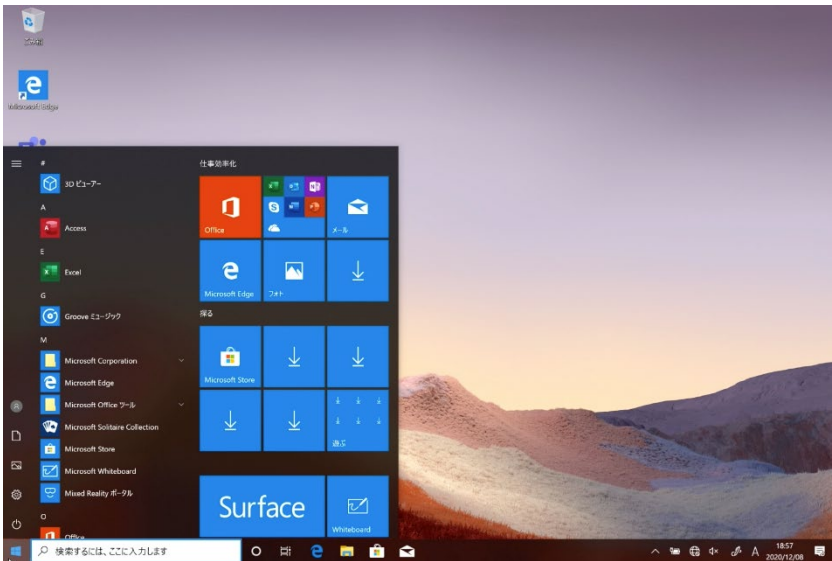
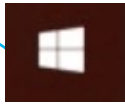
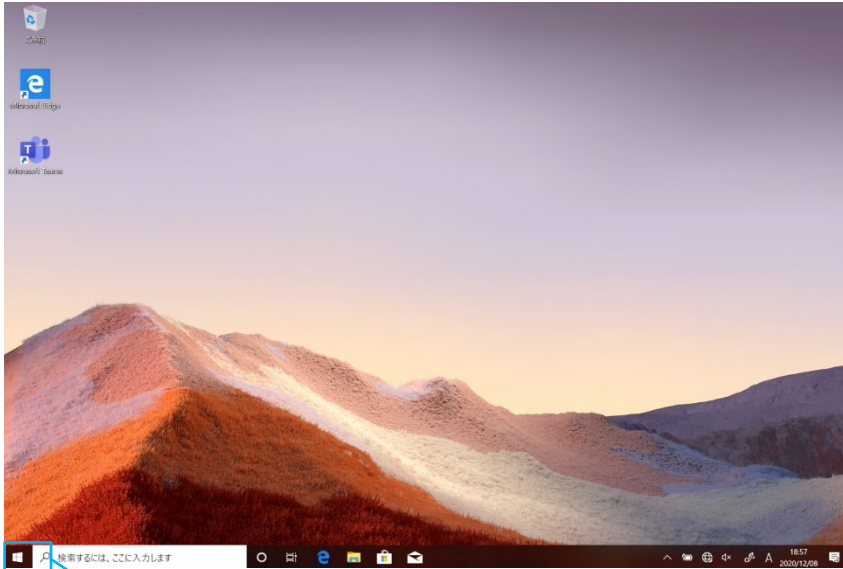


WiFiに接続ができると地球儀のアイコンからアンテナのアイコンに変わり、接続したネットワークの下に

「接続済み」の表示がされます。

以上でネットワークへの接続は完了です

※説明の図にあるアイコン群は例であり、お手元のPCと異なる場合があります



起動後、ログイン画面でパスワードを入力しサインインすると、右のようなデスクトップ画面になります。（起動時にロック画面が表示されログイン画面にならないときは画面を一度**クリック**してください。）

デスクトップ画面で左下のスタートボタンを**クリック**するとスタート画面を表示します。

このスタート画面で起動したいアプリを選び**クリック**して実行します。

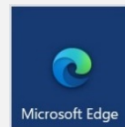
スタート画面の右側、大きなアイコン（タイル）の並んだ部分はタイルの追加、削除、並べ替え、タイルの大きさ変更ができます。自分が使いやすいようにタイルの配置換えをしてください。次ページから詳細を説明します。

【インターネットブラウザ「Edge」（エッジ）について】

Windows 10 ではインターネットを見るアプリ（ブラウザ）はEdgeを使います。（従来のWindowsのブラウザは「インターネットエクスプローラ（IE）」でした。）インターネット接続環境が整ったらEdgeを使ってインターネットを利用してください。

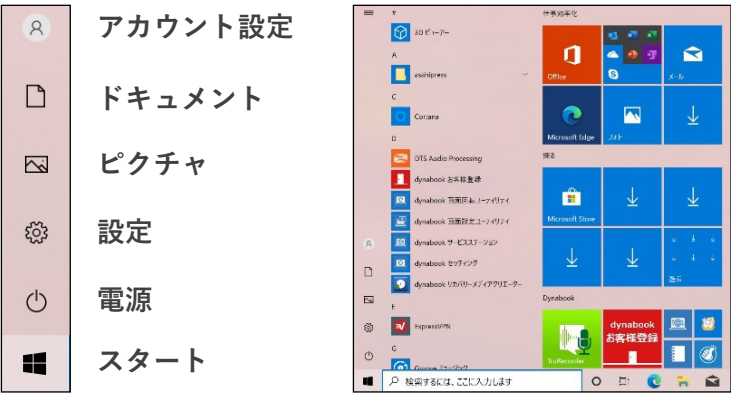


Edgeのアイコン

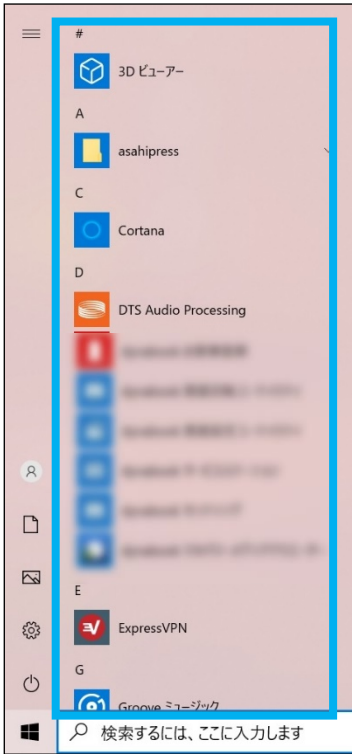


Edgeのタイル

※説明の図にあるアイコン群は例であり、お手元のPCと異なる場合があります

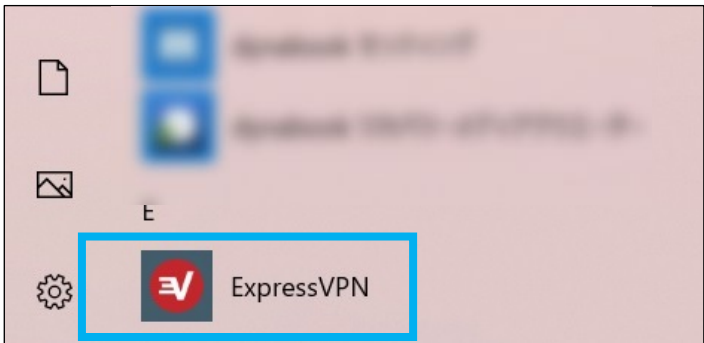


スタート画面を表示して、
そこに表示されている
アイコンやタイルを
クリックするとアプリが
起動します



スタート画面の左側は、
一番上によく使うアプリの
アイコンが表示され
その下にはこのパソコンに
インストールされている
すべてのアプリの一覧が
表示されます

一覧の続きを見る場合は
一覧表示画面(左図の
黄色四角の範囲内)に
マウスカースルを合わせ、
画面をスクロールします



目的のアプリが見つかったら、
アイコンをクリックして
起動します

実行したいアプリのアイコンの絵や文字の部分で**クリック**

タイトル画面のカスタマイズ

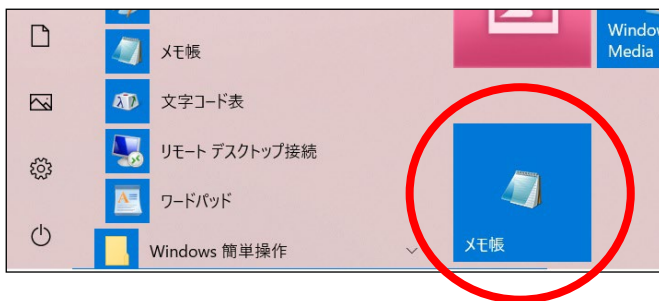
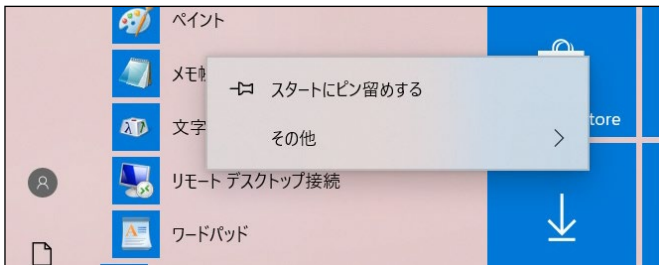
アプリはスタート画面にピン留め（タイルにして貼り付けること）ができます。よく使うアプリはピン留めしておくくと便利です。

～ 例、アプリ「メモ帳」をタイルとしてピン留めします。 ～

※アプリ「メモ帳」は、スタートボタンをクリックして出てくる、「Windowsアクセサリ」というフォルダの中にあります。

一覧画面で目的のアプリ、ここでは「メモ帳」を探し、右クリックします。

表示されたメニューの「スタートにピン留めする」をクリックします。



タイルは位置や大きさを変えたり、不要なもの削除できます。

・位置の変更

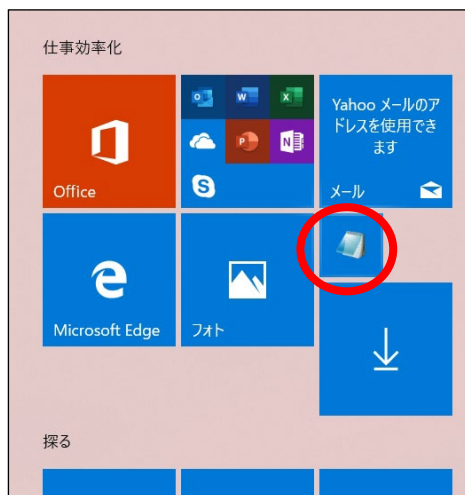
タイルをドラッグしてみてください、位置が変更できます。

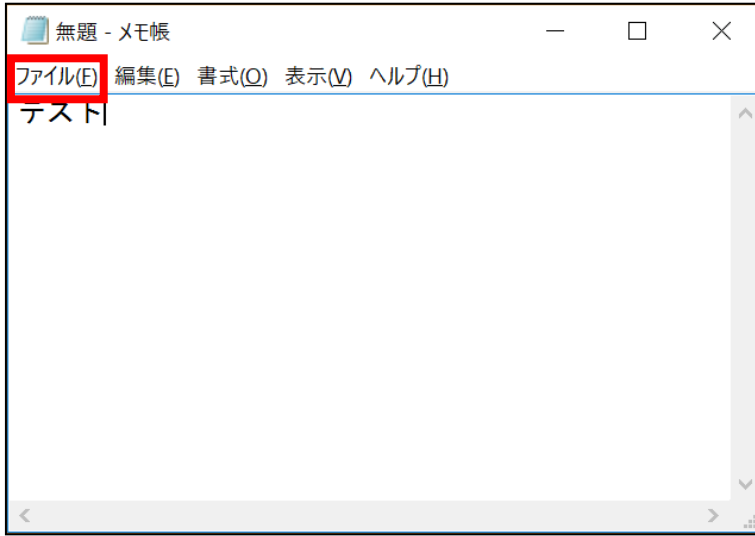
・大きさの変更

タイルを右クリックします。表示されたメニューで「サイズ変更」の「小」や「中」をクリックします。

・削除（一覧画面からは削除されません）
タイルを右クリックします。表示されたメニューで「スタートからピン留めを外す」をクリックします。

メモ帳を小さくして上の方に移動しました。





タイトル画面のカスタマイズ

～アプリ保存の例、メモ帳の場合～

「ファイル(F)」をクリックすると

上から4つ目に

「名前を付けて保存(A)...」が

あるので、クリックすると

左下のような画像が出てきます。

終了時、変更や新しく作ったファイルを保存する場合は「名前をつけて保存」画面になりますがその際、ファイルをどこに保存したかは、下図を参考に意識して覚えておいてください。

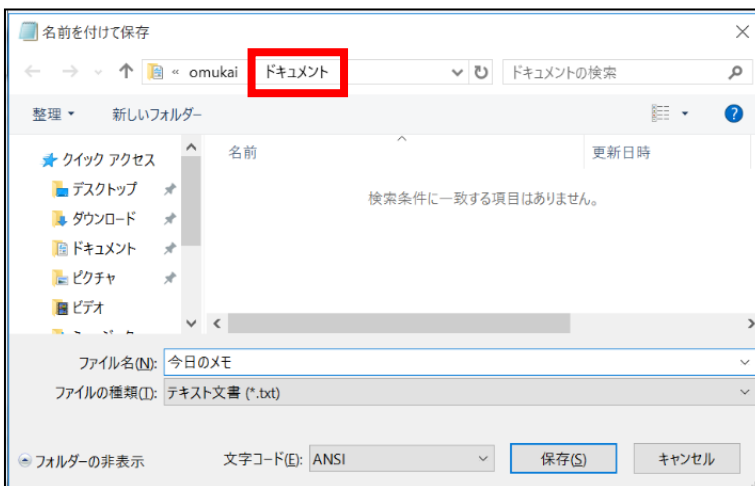
ここに注目。ここでは「ドキュメント」に保存しています。

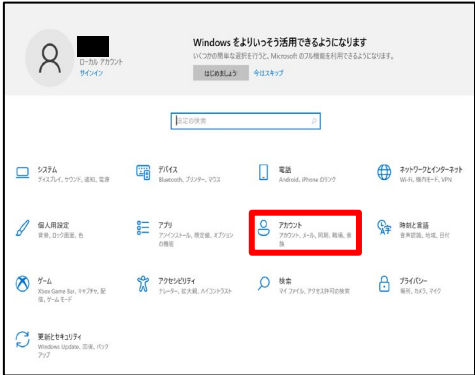
後日、保存したファイルを探すときは「ドキュメント」の中を探します。

Windowsアプリの終了は画面の右上の×をクリックします。

～アプリの終了～

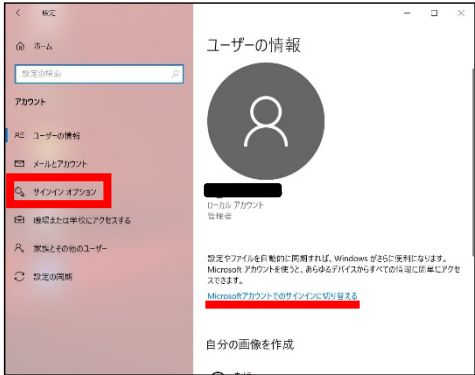
画面右上の×をクリックします





スタートボタンをクリックし、その上の「設定」ボタン  をクリックします。

設定画面になりますので
その中の「アカウント」をクリックします。



「サインインオプション」をクリックします。

{Microsoftアカウントとの関連付け}

インターネットにつなぎ、「マイクロソフトアカウントに関連付けする」を実行すると、マイクロソフトアカウントが必要なアプリ (OneDrive など)が使用できるようになります。
必要な場合は、セットアップ完了後設定して下さい。



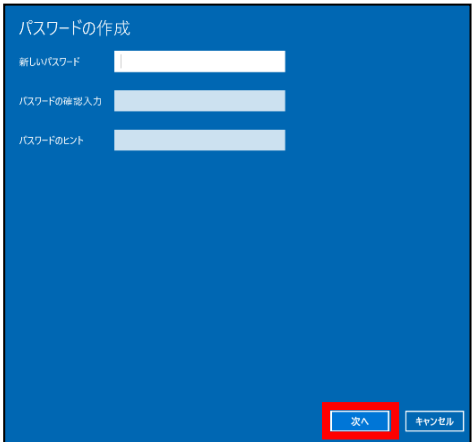
「パスワード」のアイコンをクリックします。

パスワードを初めて設定する場合は
「追加」をクリックします。



「変更」の場合は次の画面で現在のパスワードを入力します

- ①新しいパスワード、
 - ②もう一度、新しいパスワード
 - ③パスワードのヒント
- を入力して「次へ」をクリックします。



新しいPass _____.

次の画面で「完了」をクリックして終了です。

Windows Updateとは？



Windows Updateとはインターネットを通じてWindowsやOffice製品（WordやExcelなど）の発売後に見つかった問題を修正したり、新しい機能を追加する作業のことです。他にもウイルスが忍び込むセキュリティホール（セキュリティの欠陥）をなくし、悪質な攻撃に負けないように、強化することもWindows Updateでは行われます。

通常はWindows Updateの自動更新が有効になっているので、定期的に更新されるようになっています。とても便利な機能ですが、更新中はパソコンが少々遅くなったり、パソコンの再起動が必要な場合もあり、面倒に感じることもあります。

しかし、Updateをせずに使い続けると、不具合が修正されなかったり、セキュリティの欠陥が残ってしまうなど、とても危険です。

Wセキュリティを向上させたり、不具合を解消する機能がWindows Updateです。

Windows Updateを行わないとトラブルの原因になったり、ウイルスに感染してしまう可能性があります。

パソコンを安全に使い続けるために、常に最新のバージョンにしましょう。

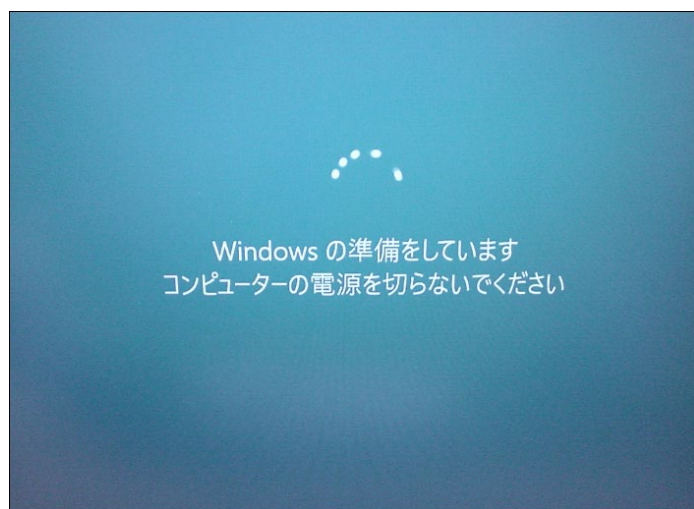
Windows10の不具合やセキュリティ上の問題が発見された場合、修正する更新プログラムがインターネット上に公開されます。

この更新プログラムをダウンロードし、Windowsを最新状態に保つのがWindows Updateです。Windows Updateはインターネットにつなぐことにより自動で行われます。

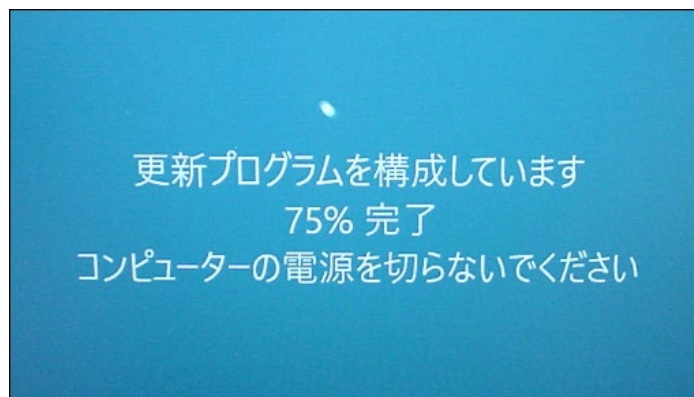
パソコンを購入した際には、メーカーの生産からお手元に届くまでの間に修正プログラムがたまっている為、必ずWindowsUpdateを行って最新の状態にする必要があります。

注意点

Windows Updateはインターネットに接続することにより自動で行われます。言い換えれば、ネットにつながないとUpdateは行われず、最新の状態に保てません。普段ネットにつながない方も定期的につなぐように心がけてください。アップデートは、電源ケーブルを接続した状態で行ってください。

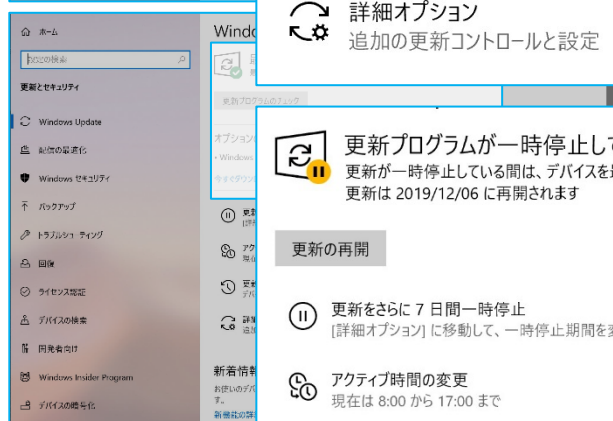
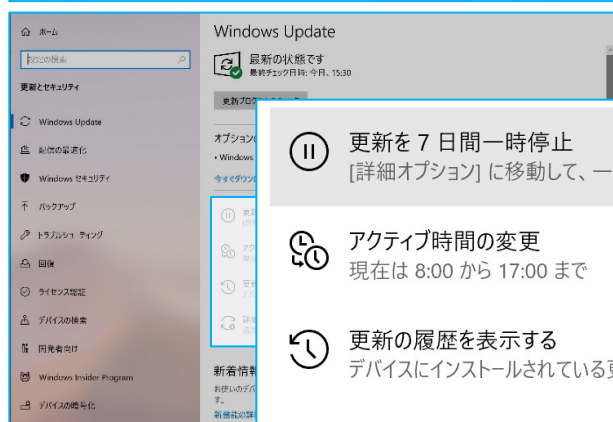
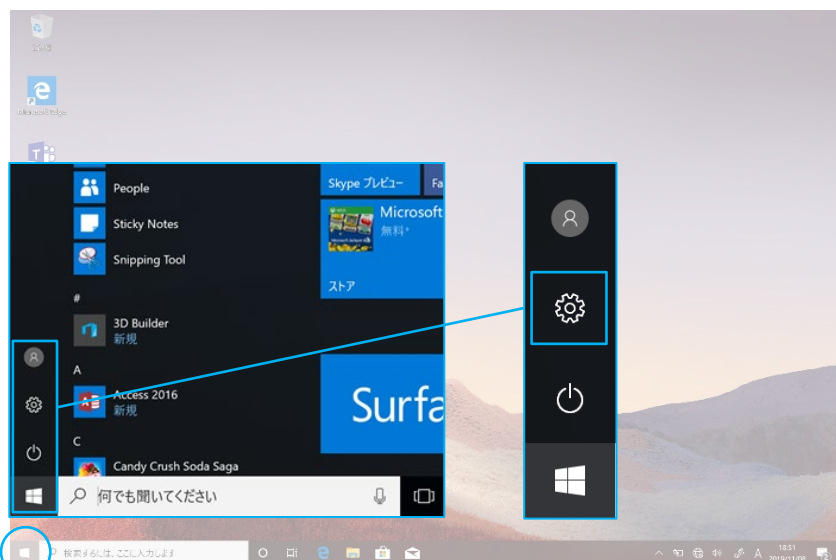


Windows Updateのダウンロード中やインストール中はパソコン全体の動作が遅くなります。異常ではありませんので、そのままご使用ください。



Windows Updateを行った後、Windowsのシャットダウンが上記の様な画面になり、通常以上の時間が（10分～30分以上）かかることがあります。それはパソコンがUpdate後の再設定をおこなっていますのでその際は電源を無理やり切らずに自然にシャットダウンされるのを待ってください。

※異常状態が長く続くとき(20分以上画面が変わらない等)は電話サポートにお問い合わせください。



Windows Updateの停止作業について

Windows 10 ではデバイスの安全と新機能追加のため、更新プログラムのダウンロードが自動的に行われます

ただ、講習会参加者の一斉ダウンロードによるネットワーク遅延を抑えるため、更新延期の設定を行います

自宅でセットアップする場合はこの作業を行う必要はありません

デスクトップ左下の「スタート」メニューから
設定アイコン[設定]をクリックします

Windows の設定が表示されます

下部の[更新とセキュリティ]をクリックします

Windows Update の設定が表示されます

「Windows Update」の項目内にある
「更新を7日間一時停止」を1度だけクリックします

「更新プログラムが一時停止しています」と表示されます

右上の[×] をクリックし設定ウィンドウを閉じます

Windows Update の自動ダウンロードと更新は7日後に再開されます



デスクトップ画面の右下隅にある

 アイコンをクリックします

周辺にあるアクセスポイントが表示されます

接続するアクセスポイント名をクリックし、
[接続]をクリックします

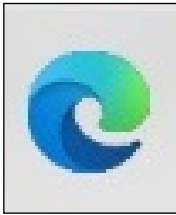
セキュリティ キーを入力し、
[次へ]をクリックします

アイコンが白色になると接続完了です

Microsoft アカウント作成を促す画面が表示される場合があります

左下の[今はスキップ]をクリックします

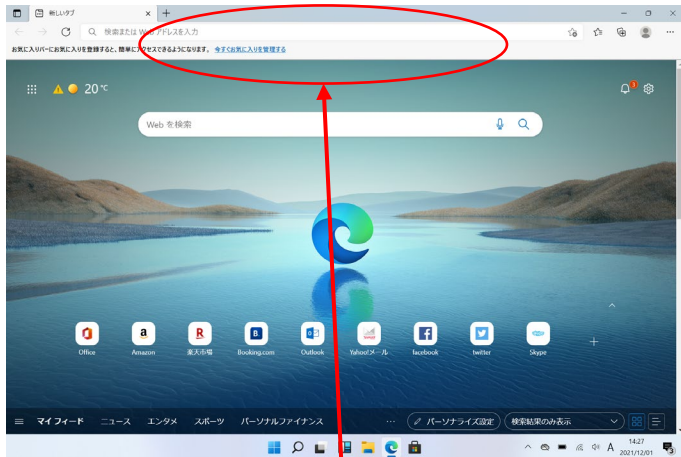
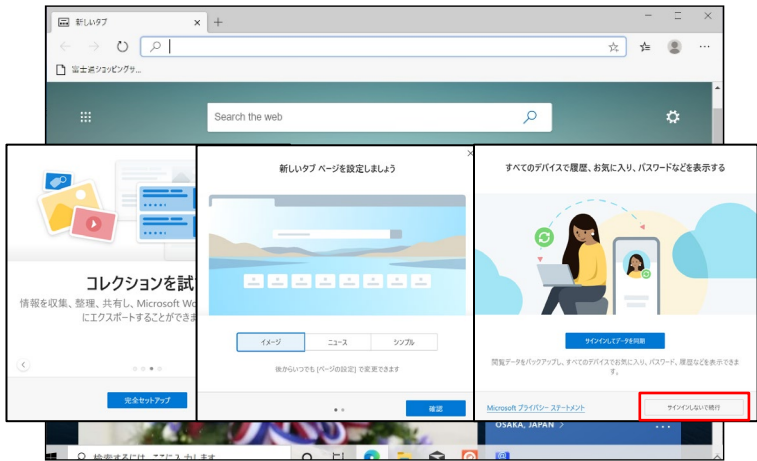
宅内でのインターネット利用には Wi-Fi
ルーター・アクセスポイントおよび回線契約
が必要です



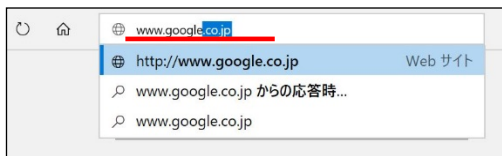
Edgeのアイコン



Edgeのタイル



アドレスの領域



Windows10 でインターネットを見るときはEdge（エッジ）を使用します。

①ここではインターネット接続ができていていることの確認の意味も込めてマイクロソフトエッジを起動します。

スタート画面やデスクトップ画面にあるEdgeのをクリックします

マイクロソフトエッジが起動します。

（左の画面は一例です。パソコンや設定により初期画面は異なります。）

※初回起動時は

- ・[コレクションを試す]は【完全セットアップ】をクリック
- ・[新しいタブの設定をしましょう]は右下の【確認】をクリック
- ・[すべてのデバイスで履歴、お気に入り、パスワードなどを表示]は右下の【サインインをしないで続行】をクリック

ヒント💡

表示されている文字をBackspaceキー等で削除し、空白にしてから新たにアドレスを打ち込みます。



Windows10 でインターネットを見るときは Edge（エッジ）を使用します。

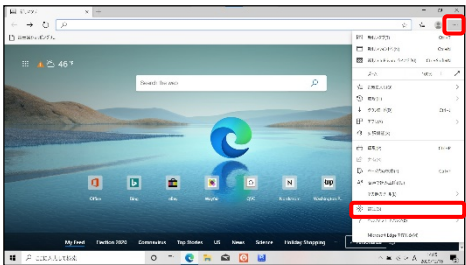
Edgeを起動した時に、最初に表示される Webページは変更できます。

例として、Googleに変更する方法を紹介 します。

Edge(エッジ)

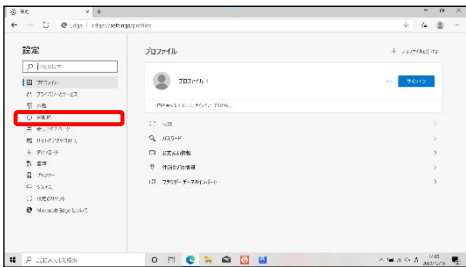
【変更手順】 Edgeを起動し、設定 画面で設定変更します。

1



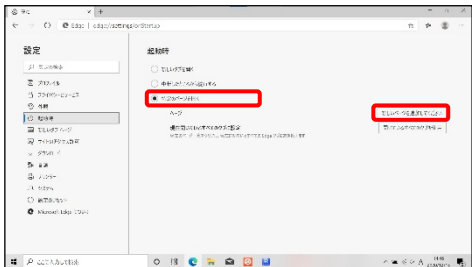
①画面右上の「...」をクリックして出てきたメ ニューの「設定」を選択してください

2



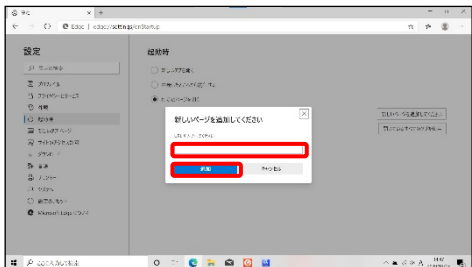
②左列の上から4番目、「起動時」をクリッ クしてください。

3



③右側「特定のページを開く」のボタンをク リックしてください。続けて右の「新しいページ を追加してください」をクリックしてください。

4



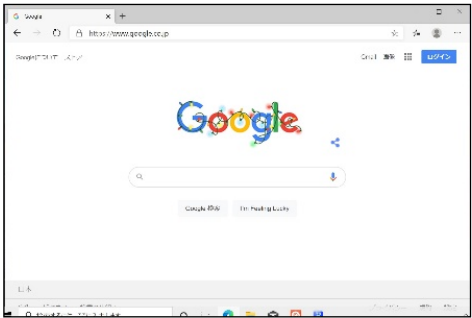
④「URLを入力してください」の欄に GoogleのURL www.google.co.jpを入力し、「追加」ボ タンをクリックします。

5

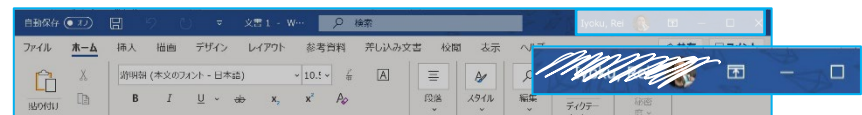
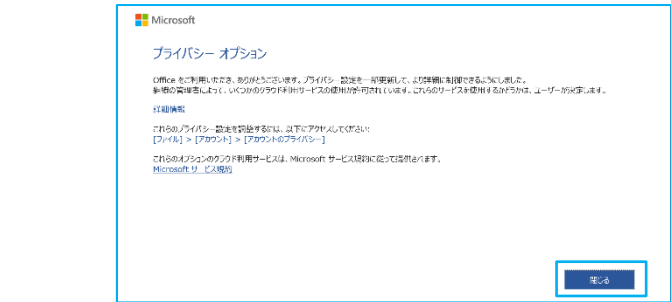
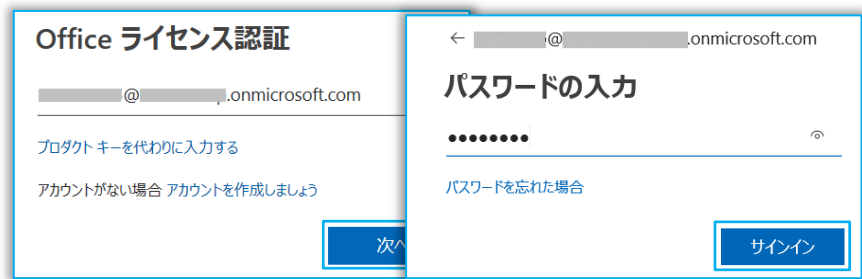
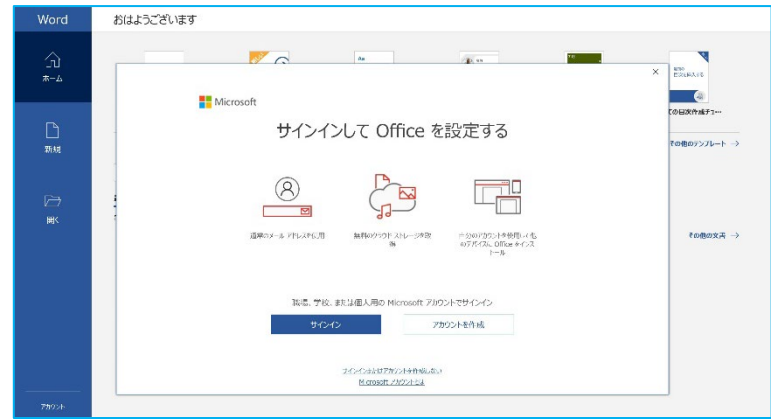
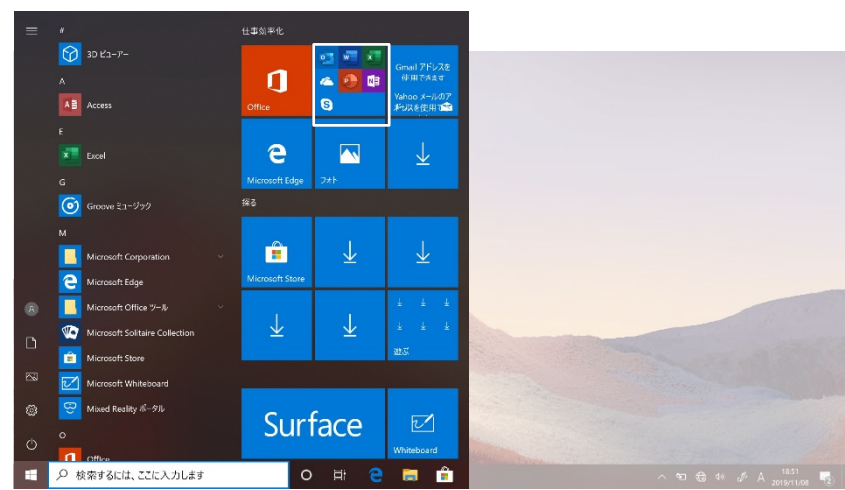


⑤Googleのアイコンとともに、入力したGoogleのURL情報等が表示されていることを確認。

6



⑥次回、Edgeを起動するとGoogleが表示されます。複数ページの起動登録もできるので、よく使うページを登録してみましょう。



ライセンス認証には大学もしくは生協から提供されるID・パスワードが必要です

[スタート]メニューからいずれかの Office アプリケーションを起動します

(Word/Excel/PowerPointなど)

アカウントでのサインインを促す画面が表示されます

[サインイン] をクリックします

ID・パスワードを入力し、[次へ]をクリックします

ライセンス認証に用いるID(メールアドレス)

~@~ac.jp もしくは

~@onmicrosoft.com

※大学によっては学内システムによるID・パスワード入力画面が表示されます

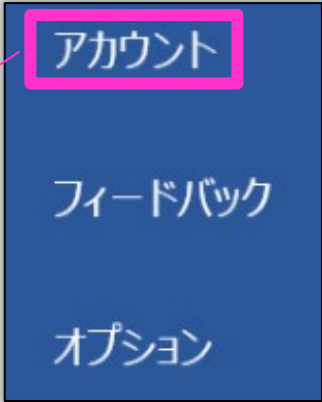
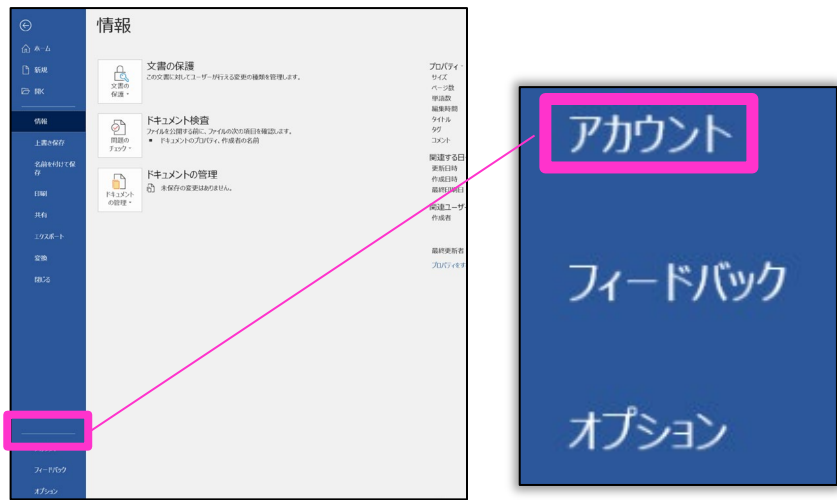
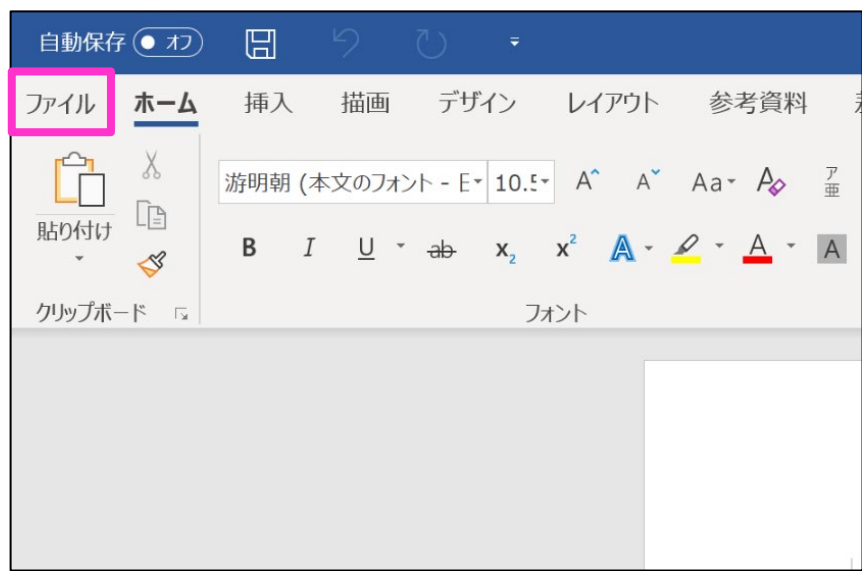
しばらく待つと「ライセンス契約に同意します」という画面が表示されます

[同意する]をクリックします

プライバシーの利用に関するメッセージが表示されます

[閉じる]をクリックします

Officeアプリケーションのウィンドウ右上にサインイン状態を示す情報が表示されます



Office アプリケーション利用には定期的な更新プログラムの適用が必要です

安定したネットワークでSurfaceを利用して
いれば自動的に適用されます

ここでは手動で更新適用する方法を紹介
します

はじめに、インターネットへ接続していること
をご確認ください。

1. Word などの Office アプリを開き、新
しいドキュメントを作成します。

2. [ファイル]、[アカウント]の順に移動します。

※ Outlook を開いている場合は
[Office アカウント]に移動します。

※左図はWordの画面です。

3. [製品情報] で、[更新オプション]、[今
すぐ更新]の順に選びます。



Office 更新プログラム
更新プログラムは自動的にダウンロードされインストールされます。
バージョン: 16.0.4229.1011

Word、サポート、プロダクト ID、著作権に関する詳細情報。

今すぐ更新(U)
Office の更新プログラム
を確認して適用します

更新を無効にする(D)
セキュリティ、パフォーマンス、信
頼性を更新しません

更新プログラムの表示(V)
この製品の更新履歴を表示します

更新プログラムの詳細(A)
詳細情報

USBメモリはセットアップ講習会で貸与するものです

USBメモリをSurface 右側面の USB ポートに接続します

画面右下のメッセージと音でUSBメモリが認識されたことがわかります

デスクトップ画面下部にあるフォルダのアイコンをクリックします

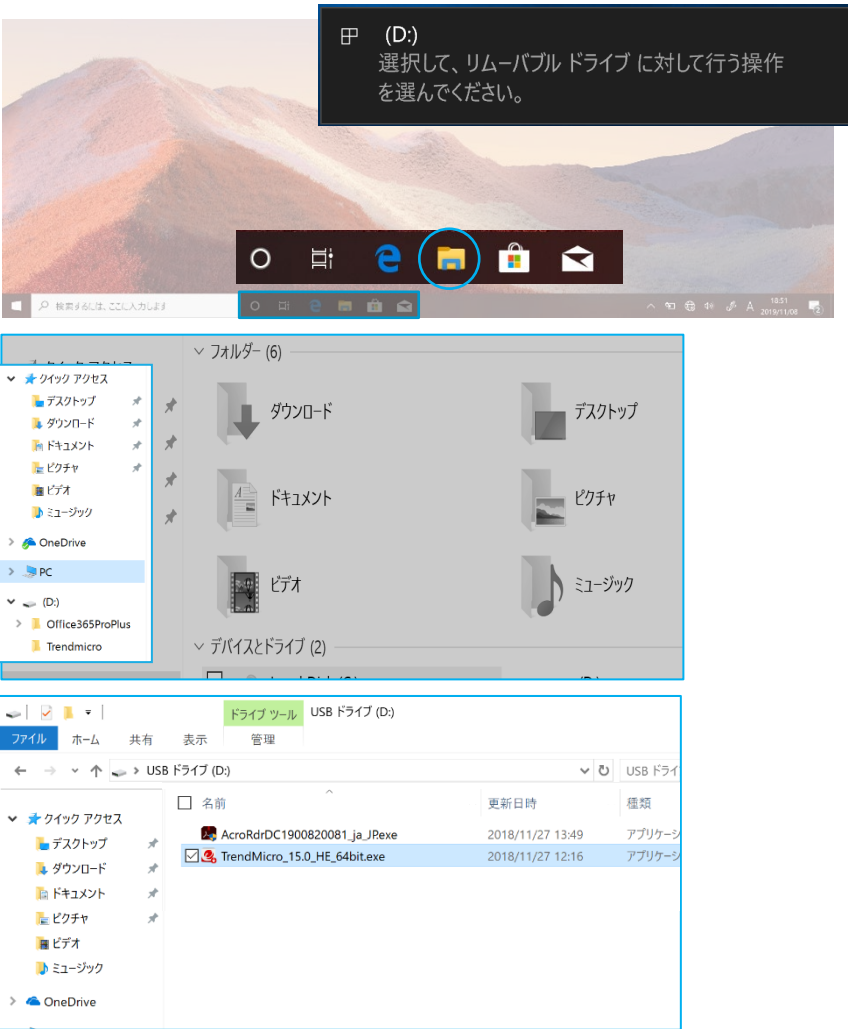
エクスプローラーのウィンドウが表示されます

ウィンドウ左列から末尾に(D:)と書かれたアイコンをクリックします

名前は異なる場合があります以下は一例です
[USBドライブ(D:)]

[リムーバブルディスク(D:)]

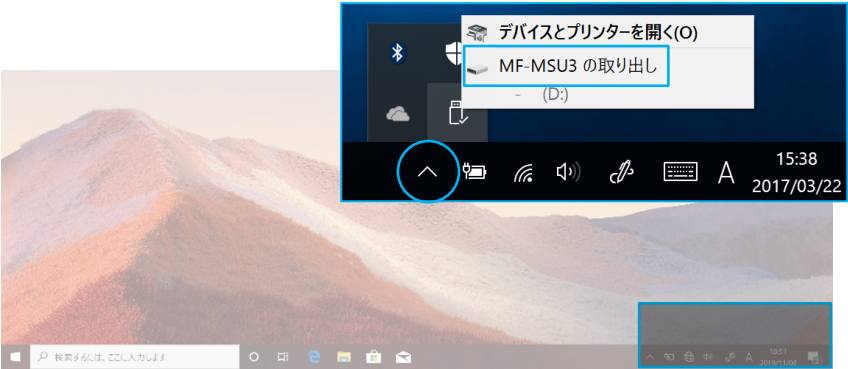
Dドライブの内容が表示されます



デスクトップ右下の[^]アイコンをクリックします

USBメモリのアイコンをクリックし、
[~の取り出し]をクリックします

メッセージと音で取り外し可能な状態になったことがわかります
USBメモリを取り外します



パソコンの保存データのバックアップについて簡単に説明します。

バックアップの必要性

パソコンは人が作った機械です。必ずいつかは壊れます。

また、取り扱いや運が悪いと短期間で故障することもあります。

パソコンが故障してしまったときには、保存されていたファイルが壊れたり修理に出した際にデータが「全て消去」される場合が多々あります。

また、うっかりミスで大事なデータを消してしまったり、悪意でデータを消してしまう「コンピュータウイルス」にかかることもあります。

そのような時の為に、大事なデータは定期的に「バックアップ」をして下さい。

バックアップの基本

基本は「パソコンが壊れて自分が苦労して作ったデータが消えてなくなることを防ぐこと」です。原則は「大事なデータは2か所に保存」（パソコンと外部ストレージの2か所に保存が基本）です。

理由は「二つの機械が同時に壊れることはまずない」からです。

バックアップ方法

「バックアップ」は難しいことはありません。上記の基本を参考に、大事なデータをUSBにつないだ外部ストレージや下記の光学ディスクにも保存してください。それだけで完了です。

バックアップの時期

毎月始め等、定期的に計画して行いましょう。

また、大事なレポート作成中は随時（毎日、毎時、休憩毎）に実施。

バックアップに必要な機器（別途購入が必要）



① 外付けハードディスク（HDD）

最近では、「小型」で「大容量」のUSB接続のHDDも多く販売されています。USBポートに差込むだけで、簡単に使えます。



② USBメモリ

USBメモリも、USBポートに差込むだけで使えます。小型ですので持ち運びにも便利です。HDDより小容量です。



③ CD-RやDVD-Rなどの光学ディスク

CD-RやDVD-Rなどのディスクに保存も出来ます。ディスクなどメディア自体は安価です。

アップデート

ソフトウェアの小規模な更新、改善、修正、機能追加などのことを呼びます。
大規模な更新の場合はアップグレードと呼びます。

アプリケーションソフト、アプリ

文書の作成、数値計算など、ある特定の目的のために設計されたソフトウェアのことを呼びます。

インストール

パソコンでアプリケーションソフト（Wordやメールソフト等）が使用できるように設定する為の作業です。

シリアル番号

ハードウェアのメーカー側で所有者の管理や偽装を防止するなどの目的で製品ごとに割り当てた番号。修理に出したり、ユーザー登録時に必要になります。

ソフトウェア

OSとアプリケーションソフト等のプログラムの総称をソフトウェアと呼びます。

例：OS（Windows、Mac等）

アプリケーションソフト（Word、Edge、ウイルスバスター等）

ダウンロード

インターネット上からファイル（文章、音楽、画像等）をパソコン上に保存する作業です。

スタート画面

パソコンのスタートボタンクリック後に表示される基本となる操作画面です。

バックアップ

パソコンの中のデータをUSBメモリや外付けHDD等にコピーを行う作業です。
パソコンの故障や操作ミスによってデータが消えてしまった時の為に行います。
バックアップ例：文書、写真、音楽、メール、インターネットのお気に入り等

ハードウェア

パソコンを構成している部品や周辺機器等の総称をハードウェアと呼びます。

例：HDD、メモリ、キーボード、マウス、ディスプレイ、プリンタ、iPod等

プロダクトキー

ソフトウェアのメーカー側でユーザ管理やソフトウェアの不正コピー防止のために発行している番号。ソフトウェアのインストール時やユーザー登録時に使用する。

メモリ

データの保存場所であるHDDから、データを処理するCPUに渡すデータを一時的に置いておくための部品です。

メモリの容量が大きいと一度にたくさんのアプリケーションソフト（Word、ブラウザ等）を使用できたり、動作がスムーズになります。

ライセンス

ソフトウェアを購入した際にソフトウェアを使用する権利のこと。

リカバリ（初期化）

パソコンを購入時の状態に戻す作業です。
パソコンが起動しなくなった際などに行います。

ログイン/ログオフ

ログインはパソコンを利用したり、ホームページ内のサービスを利用する際にIDとパスワードを入力して認証をする作業です。
ログオフはパソコンやサービスの利用を終了する際に行う作業です。

CPU（シーピーユー）

パソコン全体の処理・計算を行う、頭脳と言える部品です。
CPUが良いものであるほど、コンピュータは複雑で多くの処理を速く安定して行えます。

HDD（ハードディスク）

パソコンの中でデータの読み書きを行う装置になります。
容量が多ければ多いほどたくさんのデータを書き込むことができます。

SSD（エスエスディ）

HDD同様データの読み書きを行う装置になります。
SSDはHDDの機構部分をなくし、電子部品で構成された装置でHDDに比べ高速で消費電力が少ない特徴があります。

LAN

ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるコンピュータや通信機器、プリンタなどを接続し、データをやり取りするネットワークです。

OS（オペレーティングシステム）

WindowsやMac等の主にパソコンのソフトウェアやハードウェアを管理する機能になります。

Wi-Fi（ワイファイ）

無線LANの規格のひとつ。
最近ではWi-Fi＝無線LANといった意味で使われることが多いようです。

32bitと64bit

まずbit(ビット)とはパソコンで扱う情報量の最小単位です。
bitの単位が大きい方がよりCPUで多くの情報量进行处理することができます。
※古いWindowsでは「32bit(ビット)」を使用していましたが、最近のパソコンは「64bit(ビット)」に切り替わりました、その為、以下の注意点があります。

互換性の違い

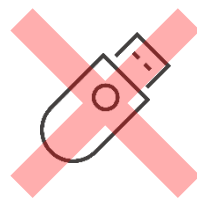
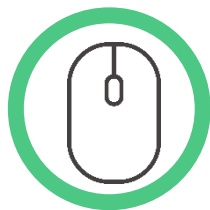
一般に32 bit(ビット)用アプリケーションと64 bit(ビット)アプリケーションは互換性がありません。

古いアプリケーションソフトには32 bit(ビット)のみ対応の場合があり、Windows対応と記載

されていても最近の64 bit(ビット) Windowsでは動作しないアプリケーションソフトがあります。

古いアプリケーションソフトをインストールする場合は64 bit(ビット)に対応しているか確認する必要があります。

セットアップが終わったら...

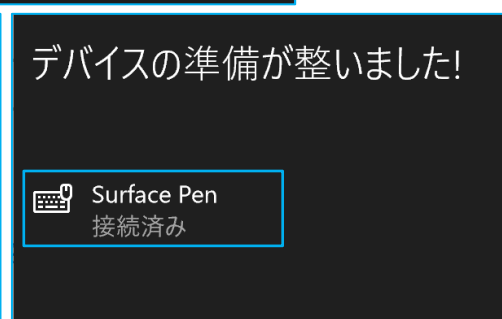
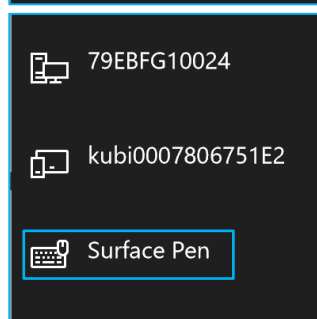
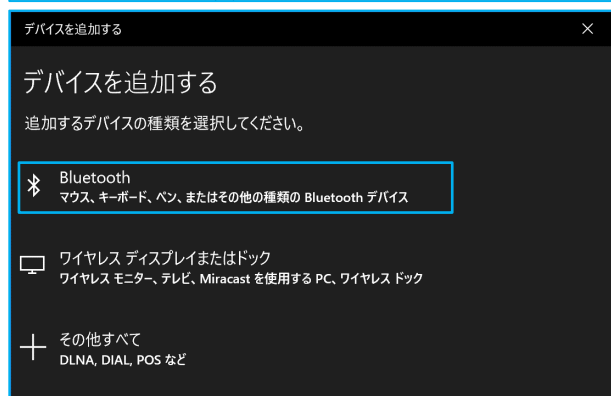
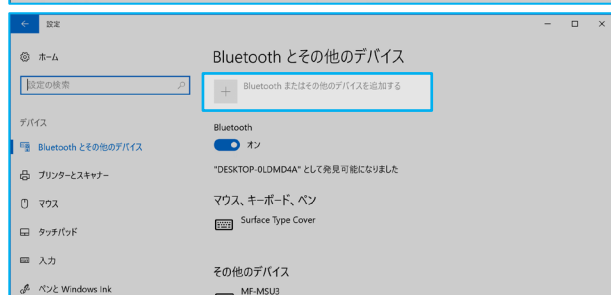
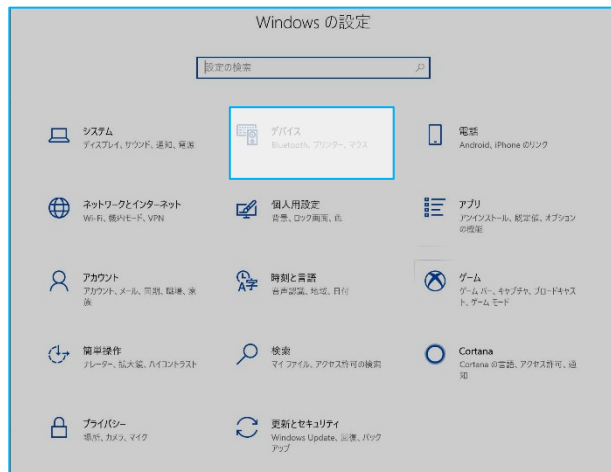
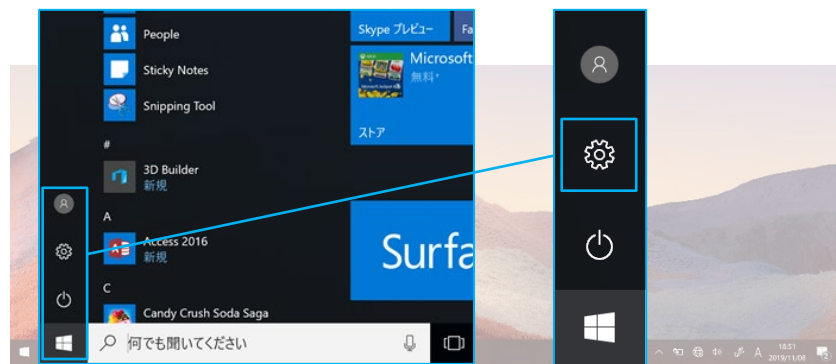


マウスはパソコンに電源が入っていても自由に抜き差しできますが、**USBメモリ**のようなデータを保存しておく機器の場合は、「**USB機器を接続する**」の手順を踏んで外しないと、故障の原因となります。



Surfaceを活用するために





Surface ペンはBluetooth のペアリングなしでも書込み可能です

ペアリングするとトップボタンによる機能ショートカットが有効になります

デスクトップ左下の「スタート」メニューから⚙️アイコン[設定]をクリックします

[デバイス]をクリックします

[Bluetooth またはその他のデバイスを追加する]をクリックします



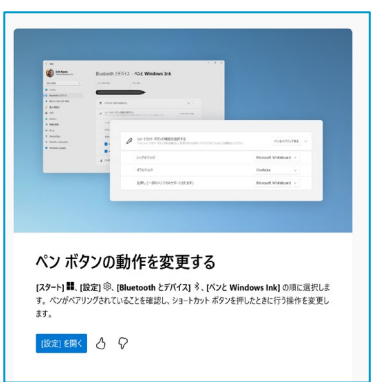
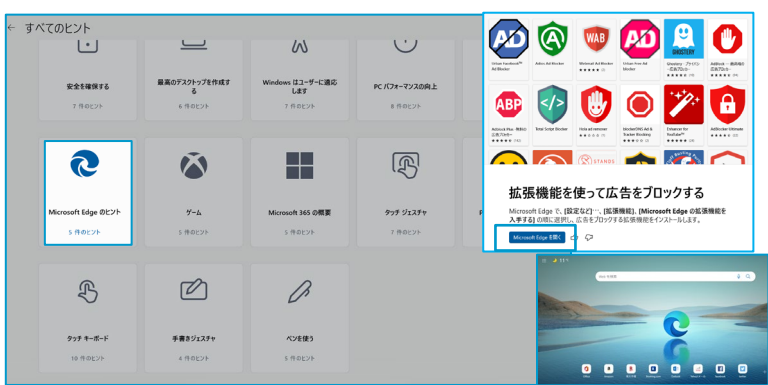
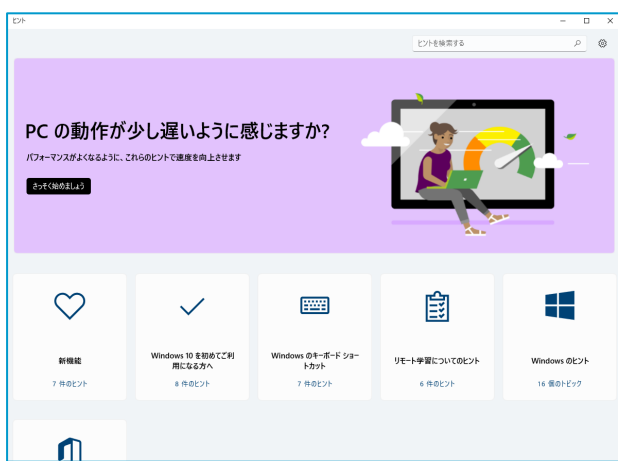
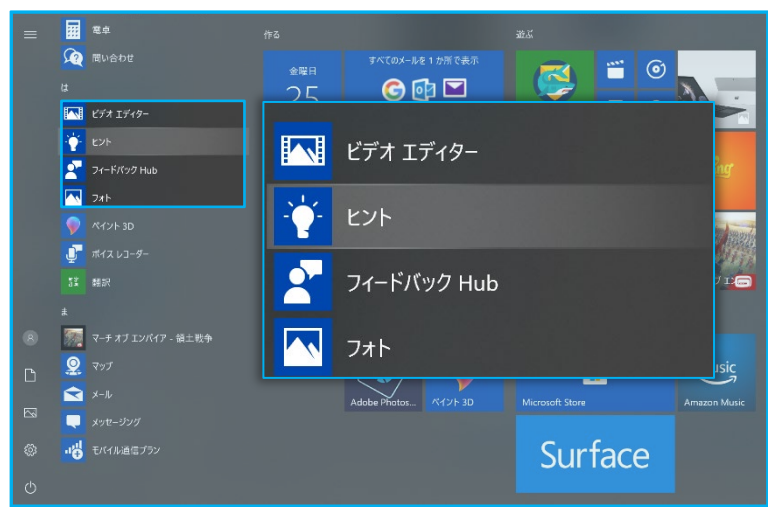
Surface ペンのトップボタンを5～7秒長押しします

トップボタン下のLEDが点灯すると、ペンが検出可能になります

デバイス追加の画面が表示されます
[Bluetooth]を選択します

Bluetooth デバイスの一覧に「Surface Pen」が現れたら、選択します

数秒待つと、ペアリングが完了します
[完了]をクリックします



ヒントアプリはSurface 活用に役立つ簡潔なヒントが収められています

操作や設定方法を確認したいときにご覧ください

[スタート] メニューを開きます

アプリ一覧から [ヒント] をクリックします

使い方

1.カードを選択して一連のヒントを開きます

2.右上の [ヒントの検索] ボックスを選択し、テーマのキーワードを 1 つか 2 つ入力するか、詳しい情報を調べたい Windows 10 のアプリを入力します

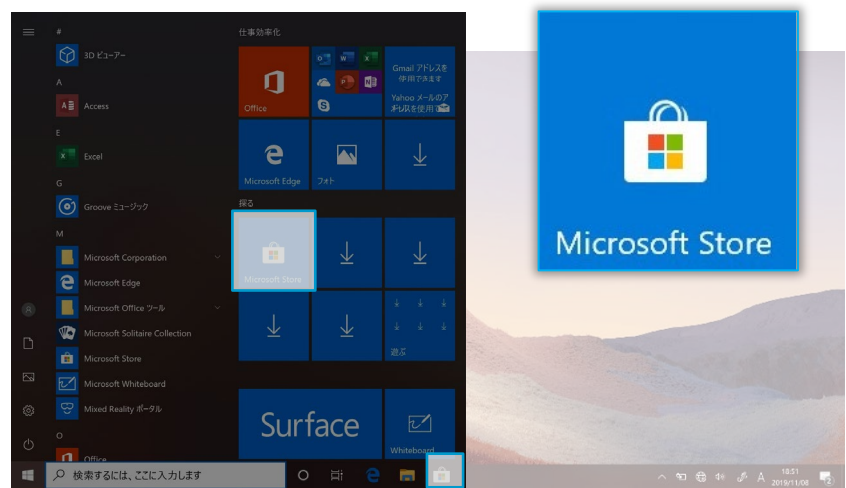
ヒントに青いボタンがある場合はクリックすると該当するアプリが起動します

ヒントアプリの利用にはインターネット接続が必要です

「Microsoft ヒント」というサイトでも同様のヒントを閲覧できます

スマートフォンでも下のQRコードから閲覧可能です





「Microsoft Store」では無料/有料のアプリをダウンロードして利用できます

LINE・Twitter・InstagramなどのアプリをSurfaceにインストールして活用しましょう

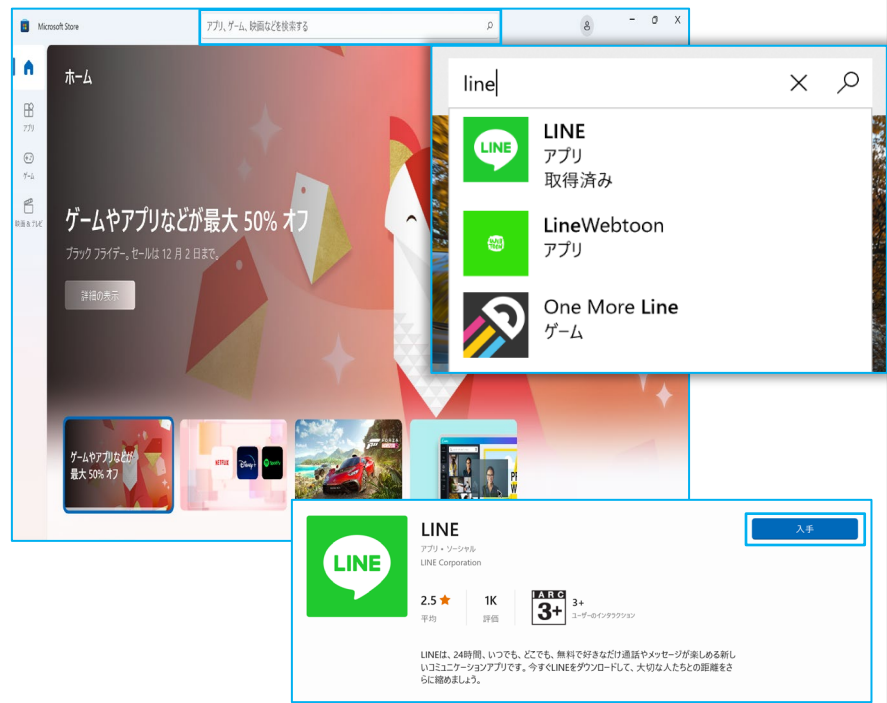
※ダウンロードにMicrosoftアカウントが必要な場合があります



スタートメニュー内 もしくはタスクバーの



アイコンをクリックして起動します



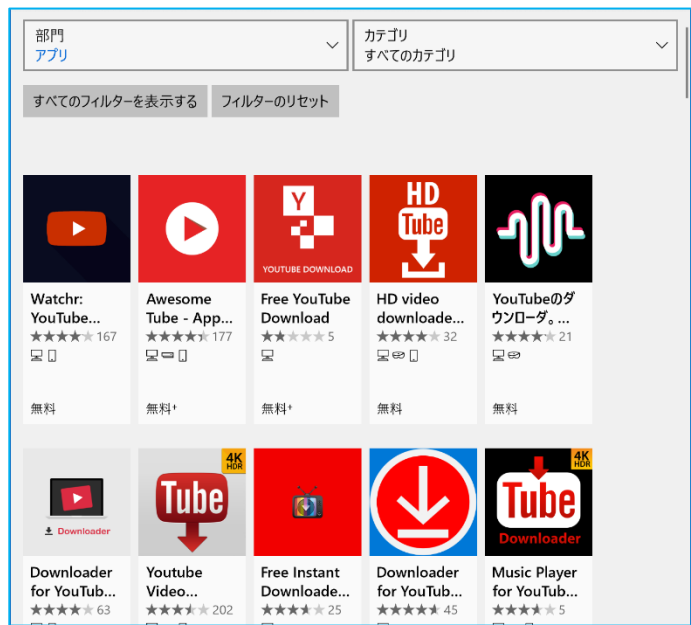
右上の検索ボックスにキーワードを入力してアプリを探すことができます

[入手]もしくは[インストール]をクリックするとインストールが開始されます

インストールしたアプリはスタートメニューに表示されます

※インストールの前にアプリのディベロッパー(開発者)を確認しましょう

一例としてLINEのディベロッパーは「LINE Corporation」ですので公式アプリです



「Youtube」と検索した結果の画面です

表示されているのはすべて非公式のディベロッパーのアプリです

別のアプリをインストールさせようとする

インターネットブラウザの初期ページを強制的に書換える

個人情報にアクセスしようとする

などのリスクを伴います

自己責任のもとで利用してください



Windows Hello を利用すると、顔認証でパスワード入力なしにサインインが可能です

設定のためには

- ・パスワード
- ・PIN

の2種を設定しておく必要があります

デスクトップ左下の「スタート」メニューから
⚙️アイコン[設定]をクリックします

「Windows の設定」が表示されます

[アカウント]をクリックします

アカウントの画面が表示されます

左列の[サインイン オプション]を選択します

サインイン オプションの項目が表示されます

「PIN」の項目にある[追加]ボタンをクリックします

※初期セットアップでパスワード設定していない場合はPIN追加の前に

[パスワード]の項目からパスワードを設定する必要があります

まずアカウントのパスワードを入力し、[OK]をクリックします

次にPINを設定します

4桁以上の数字を入力してください

2つのボックスに希望するPINを入力し、
[OK]をクリックします



顔認証をセットアップします

[Windows Hello 顔認証]をクリックし、
[セットアップ]のボタンをクリックします

Windows Hello の設定ウィンドウが開きま
す

[開始する]をクリックします

ユーザー確認のウィンドウが表示されます
設定したPINを入力します

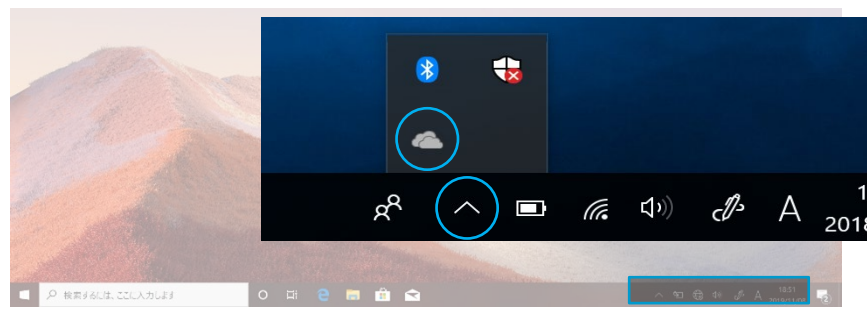
カメラが起動するので顔を登録します
ディスプレイ上部のカメラを見続けてください

セットアップが完了します
[閉じる]ボタンをクリックします

メガネあり・なしなど複数登録可能です
必要に応じて同様の作業を行ってください

起動・スリープ解除時に顔認証でサインイン
できるようになります

認識できない場合はPINもしくはパスワード
でサインインしてください



※OneDrive はクラウドを使ったストレージサービスです

Office ライセンスのIDもしくはMicrosoft アカウントを設定して利用します

デスクトップ右下の[^]をクリックします
[☁]雲のアイコンをクリックします

OneDrive の設定ウィンドウが表示されます

アカウントのメールアドレス・パスワードを入力し [サインイン]をクリックします

OneDrive を紹介するウィンドウが表示されます

[次へ]をクリックします

Microsoft アカウントを入力した場合「Office 365 Solo」の表示が現れることがあります

下部にある [後で] をクリックします



すべてのファイルをオンデマンドで利用できます。

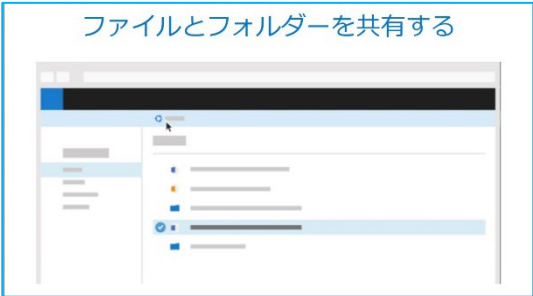
ファイル オンデマンドを利用すると、PC の保存領域を消費せずに OneDrive 内のすべてのファイルを参照できます。[詳細情報](#)

-  **オンライン限定**
オンライン限定ファイルは、この PC の保存領域を消費しません。また、ファイルは使用するときダウンロードされます。
-  **このデバイスで利用できる**
緑のチェックマークの付いたファイルは、既にダウンロードされたファイルで、オフライン時に編集することができます。
-  **重要なファイルにマークを付ける**
右クリックして **[このデバイス上で常に保持する]** を選択すると、重要なファイルに確実にアクセスできるようになります

重要なファイルをオフラインで確実に利用できるようにします。



エクスプローラーを右クリックして、**[このデバイス上で常に保持する]** を選択します。



準備が整いました。



< [OneDrive フォルダーを開く](#)

OneDrive の機能紹介のウィンドウが表示されます

右下の[>]をクリックし、紹介をすすめます

- OneDrive に保存したファイルは
- Surface 以外のPC
 - iPhone・Android スマートフォン
 - Chrome/Safari/FireFoxなどのブラウザなどからダウンロード可能です

万が一のトラブルでSurface が起動不能になった場合に備え、大事なデータはOneDriveフォルダに保存するようにしましょう

OneDrive の準備が完了しました

[OneDrive フォルダーを開く]をクリックするとOneDrive フォルダーが表示されます



通常のシャットダウン方法

方法1

[スタート] メニューを開き

[電源] > [シャットダウン]を選択します

方法2

電源ボタンを長押し (約 4 秒)

[スライドして PC をシャットダウンします] 画面が表示されたら下にスライドします

動作が不安定、フリーズした場合はシャットダウンできない場合があります

やむを得ない場合は以下の方法でシャットダウンしてください

シャットダウンできないときは

方法1 電源10秒長押し

画面オフになるまで電源ボタンを長押しした後 (約 10 秒)、電源ボタンを離します。

電源ボタンを押し、再度 Surface の電源を入れます。

方法2 電源20秒長押し

Surface が再起動するまで電源ボタンを長押しし続け、Windows ロゴ画面が表示されたら (約 20 秒) 電源ボタンを離します。

方法3 ツーボタンシャットダウン

Surface の電源ボタンを 30 秒間押したままにしてから、離します。

音量を上げるボタンと電源ボタンを同時に押し、そのまま 15 秒以上押し続けてから、両方のボタンを離します。

画面に Surface ロゴが短時間表示される場合がありますが、両方のボタンを少なくとも 15 秒間は押し続けてください。ボタンを離した後、10 秒間待ちます。

電源ボタンを押して離し、再度 Surface の電源を入れます。

